ボイストレック

DM-30
DM-20
DM-10

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使い下さい。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管して下さい。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

目次

1 ご使用になる前の準備

2 音声レコーダーとして使う

3 音声ファイルをパソコン上で管理する

1
2
3
4
5
6
7

安全に正しくお使いいただくために

**ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。**

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠警告

本機で指定されてない電池を使わないでください。

充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池を使わないでください。

電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。

電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

⚠警告

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠警告

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

① 火傷に注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

AC アダプタについて

⚠**警告**

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

⚠**警告**

内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

⚠**警告**

引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

⚠**警告**

プラグ先端の⊕、⊖をショートさせないでください。
火災や火傷、感電の原因となります。

⚠**警告**

落下や損傷により内部が露出したら、
① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、火傷、ケガの恐れがあります。
② 感電、火傷、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

⚠**警告**

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠**警告**

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠**注意**

濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
感電の原因となります。

⚠**注意**

表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。

電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。

電源プラグのコンセントへの差込が不完全なまま使用しないでください。

使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけないでください。
- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。

火災や感電の原因となります。

本機について

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

⚠警告

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害､聴力低下を引き起こす恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。

交通事故などの原因となります。

⚠警告

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児､子供の近くで使用する時は細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告･注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば

— 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
— 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

⚠警告

水に落としたり､内部に水や金属､燃えやすい異物が入ったら、

① 速やかに電池および AC アダプタを抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください｡そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠警告

航空機内や病院などで使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

ソフトウェアについて

⚠警告

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで再生しないでください。
スピーカやヘッドホンを破損したり、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

使用上のご注意

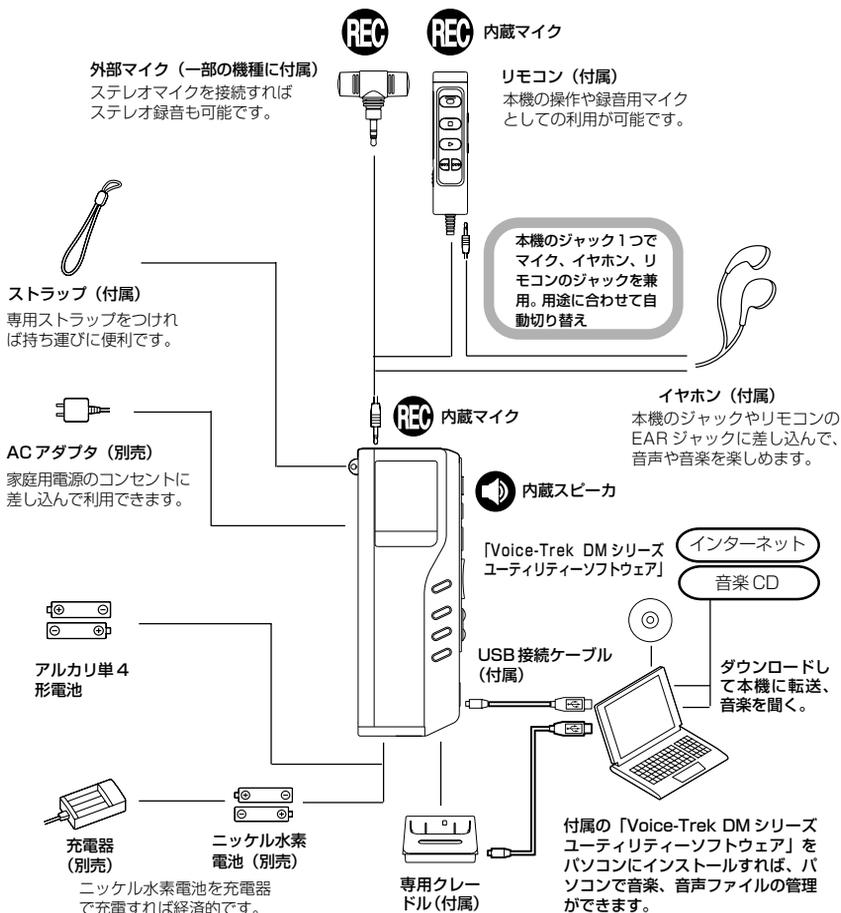
- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。
- 清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

＜データ消失に関する注意事項＞

メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし保存されることをおすすめします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

こんな使いかたができます

キレイに録音＆再生

- WMA 形式搭載で高音質録音・再生ができます。ステレオマイク（一部の機種に付属）を使えばステレオ録音も可能です。
- ノイズキャンセル機能の採用で雑音を大幅にカットします。

長時間記録が可能

- DM-30 は最長約 90 時間、DM-20 は最長約 45 時間、DM-10 は最長約 22 時間の音声ファイルを連続記録できます。

リモコンでらくらく操作

- 付属リモコンマイクを接続すれば、本機をポケットやかばんなどに入れて操作できます。

見やすい表示画面

- バックライト付き大型液晶ディスプレイだから、暗い所でも表示を見ることができます。

音楽を聞く

- インターネットからお気に入りの曲をダウンロードしたり、付属の「Windows Media Player」を使って音楽 CD からお気に入りの曲を取り込んで楽しめます。
- DM-30 は最長約 11 時間 20 分、DM-20 は最長約 5 時間 40 分、DM-10 は最長約 2 時間 50 分の音楽ファイルを記録できます。
- 音楽の臨場感を高める音響技術WOWを搭載しています。広がりのある豊かなサウンドを楽しめます。
- 曲名やアーティスト名の日本語表示ができます。

PC につないで楽しむ

- 付属の USB 接続ケーブル、DSS Player を使ってパソコン上で音声や音楽ファイルを管理・再生。パソコンと本機の双方向高速データ通信や専用クレードル経由でのデータ転送も可能です。
- 本機を外付け型外部メモリ・リーダ／ライタとして活用することも可能です。
- Windows と Macintosh の両方に対応しています。

主な特長

本商品は以下のような特長を備えております。

- 本格的な「デジタル音声レコーダー」機能に加えて、「デジタル音楽プレーヤー」機能を搭載しています。（☞ P27、65）
- 専用ソフトウェアの「DSS Player」と「Windows Media Player」を１つに収めた「Voice-Trek DM シリーズ ユーティリティーソフトウェア」を付属しています。（☞ P21）
- 専用のリモコンを本機に接続すれば、本機の操作はもちろんのこと、録音用マイクとしても利用可能です。（☞ P31）
- 本機のジャックはリモコン、イヤホン、マイクの兼用ジャックです。用途に合わせて自動切り替えを行います。（☞ P31）
- 本機を装着してパソコンへのデータ転送が行える専用クレードルとUSB接続ケーブルを付属しています。（☞ P50）
- 本機は外付け型外部メモリ・リーダ／ライタとしての活用もできます。（☞ P99）
- フルドット表示のバックライト付き大型ディスプレイ（液晶表示パネル）を採用しています。（☞ P89）
- オリジナルのフォルダ名が入力できます。（☞ P92）

音声レコーダーの特長

- 録音した音声を高能率圧縮でデジタル変換し、DSS（Digital Speech Standard）形式や WMA（Windows Media Audio）形式のファイルとして記録します。*1（☞ P27）
- HQ（高音質録音）・SP（標準録音）・LP（長時間録音）の３種類の録音モードが選択できます。またステレオマイク（一部の機種に付属）を利用すればSHQ（ステレオ高音質録音）モードでのステレオ録音が楽しめます。*2（☞ P33）

DM-30 (256MB)の録音時間 *3

SHQ	約８時間 50 分
HQ	約 17 時間 45 分
SP	約 42 時間 00 分
LP	約 89 時間 40 分

DM-20 (128MB)の録音時間 *3

SHQ	約４時間 20 分
HQ	約８時間 45 分
SP	約 20 時間 55 分
LP	約 44 時間 45 分

DM-10 (64MB)の録音時間*3

SHQ	約2時間10分
HQ	約4時間20分
SP	約10時間25分
LP	約22時間20分

● 5つのフォルダにそれぞれ199件、合計で最大995件の音声ファイルが保存できます。(☞ P27)

● ファイルごとにコメントが入力できます。*4 (☞ P44)

● ノイズキャンセル機能を搭載しています。(☞ P42)

● 録音した音声ファイルを別のフォルダに移動させることができます。(☞ P95)

● インデックスマークの記録と消去が可能です。*4 (☞ P43)

● 再生スピードをコントロールできる早聞き・遅聞き再生機能付き。(☞ P36)

● 専用ソフトウェアの「DSS Player」を付属しています。(☞ P48)

音楽プレーヤーの特長

● MP3とWMA形式の音楽ファイルが再生可能です。(☞ P70)
- DM-30は約3時間20分～11時間20分、DM-20は約1時間40分～5時間40分、DM-10は約50分～2時間50分の音楽データを収録できます。

● 臨場感を高めるWOW機能を搭載しています。(☞ P73)

● 再生イコライザーの切り替えが可能です。(☞ P75)

*1：SP・LPモード録音時はDSS形式、SHQ・HQモード録音時はWMA形式になります。

*2：SHQモードでの録音はステレオマイク（一部の機種に付属）利用時のみ可能です。尚、ステレオマイク使用時はSHQモードのみの録音となります。

*3：1つのファイルを連続で録音した場合の録音可能時間です。小刻みに録音を繰り返した場合は、録音可能時間がこれより短くなることがあります。（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください）

*4：WMA形式のファイルについては、本機またはオリンパス製ICレコーダーで録音したファイルに限りこれらの機能をお使いになることができます。

パソコンの動作環境

DSS Player、Windows Media Player の基本動作環境

Windows

DSS Player、Windows Media Player

対応パソコン	DOS/V 機（IBM PC/AT 互換機）
OS(オペレーティングシステム)	Microsoft Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional（以降 Windows 2000 と表記）/XP Professional,Home Edition（以降 XP と表記） ただし Windows Media Player は Windows 98SE 以降の OS
CPU	Intel Pentium II 333MHz 以上（500MHz 以上のプロッセサを推奨）
RAM 容量	64MB 以上（128MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	DSS Player のインストール：10MB 以上 Windows Media Player のインストール：50MB 以上 （この他に音声ファイル用、音楽ファイル用の空き容量が必要）
ドライブ	2 倍速以上の CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
サウンドボード	Creative Labs Sound Blaster16 または 100%互換のサウンドボード
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット、256 色以上
USB ポート	１つ以上の空き
オーディオ入出力端子	イヤホンまたはスピーカー出力端子
その他	・マウス、またはそれに類するポインティングデバイス ・音楽情報取得サイトへアクセスする場合はインターネットが利用できる環境

Macintosh

対応パソコン	iMac、iBook、eMac、Power Mac G3/G4/G5、PowerBook（ただし USB ポートを標準で装備した機種）
OS(オペレーティングシステム)	Mac OS 9.0/9.1/9.2/10.1/10.2/10.3
RAM 容量	16MB 以上の RAM
ハードディスク空き容量	5MB以上(この他に音声ファイル用の空き容量が必要)
ドライブ	2 倍速以上の CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ディスプレイ	800 × 600 ドット、256 色以上
USB ポート	１つ以上の空き
オーディオ入出力端子	イヤホン (またはスピーカ) 出力端子

ご注意

- NEC PC-9821 シリーズのサポートはしておりません。(PC-9821 をお客様でクロックアップやメモリ拡張したものを含みます)。
- パソコンがUSBポートを備えていても、Windows 95 から Windows 98/Me/2000/XP にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

表記について

本書では次のコンピュータを想定して説明しています。お客様の環境と異なる場合は、説明内容にしたがいそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。

(Macintosh)

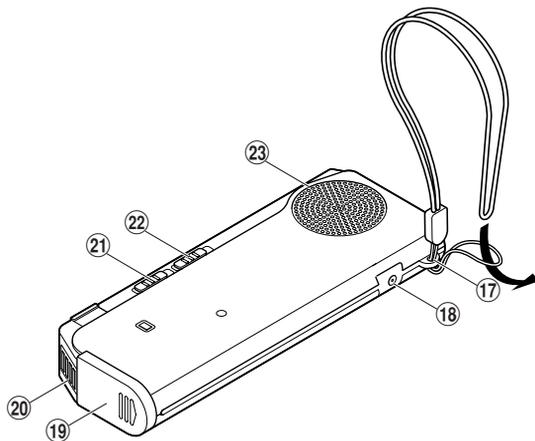
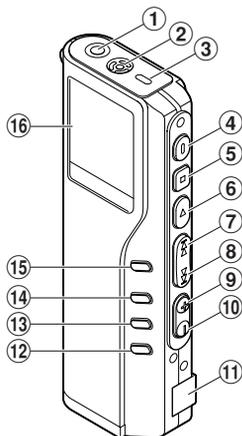
- MacOS X を使用しているものとして解説します。

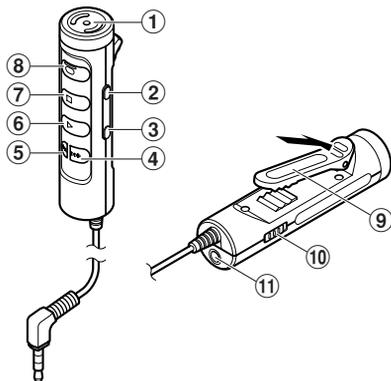
(Windows)

- 1台目のハードディスクをCドライブとして解説します。
- 1台目のフロッピーディスクをAドライブとして解説します。
- 1台目のCD-ROM ドライブをD ドライブとして解説します。
- Windows XP を使用しているものとし、Windows のインストール先のパスをC:¥Windows として解説します。

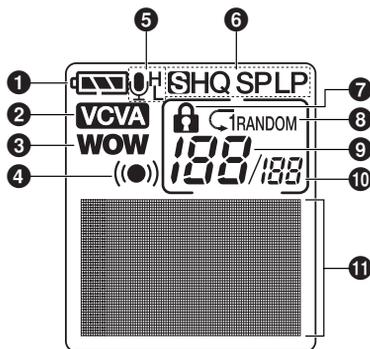
また、お客様が パソコンの基本操作に慣れていることを前提にしています。

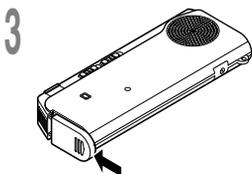
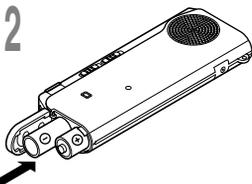
パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。分からない用語については、「用語の説明」をご覧ください(☞ P105)。

各部のなまえ

① EAR/MIC/REMOTE ジャック
② 内蔵マイク
③ 録音 / 再生表示ランプ
④ REC ボタン
⑤ STOP ボタン
⑥ PLAY ボタン
⑦ FF ボタン
⑧ REW ボタン
⑨ VOL（＋）ボタン
⑩ VOL（－）ボタン
⑪ パソコン接続（USB）端子
⑫ ERASE ボタン
⑬ FOLDER/REPEAT ボタン
⑭ INDEX/EQ ボタン
⑮ DISPLAY/MENU ボタン
⑯ ディスプレイ（液晶表示パネル）
⑰ ストラップ取り付け部
⑱ 電源ジャック
⑲ 電池ぶた
⑳ クレードル接続端子
㉑ モード（VOICE/MUSIC）スイッチ
㉒ HOLD スイッチ
㉓ 内蔵スピーカ

リモコンマイク

① 内蔵マイク
② VOL（＋）ボタン
③ VOL（−）ボタン
④ FF ボタン
⑤ REW ボタン
⑥ PLAY ボタン
⑦ STOP ボタン
⑧ REC ボタン /REC ランプ
⑨ クリップ
- 矢印部分を押してご使用ください。
- クリップは無理に広げないようにしてください。破損する恐れがあります。

⑩ HOLD スイッチ
⑪ EAR ジャック

ディスプレイ

❶ 電池残量表示
❷ 音声起動録音（VCVA）表示
❸ WOW 表示
❹ アラーム表示
❺ マイク感度表示
❻ 録音モード表示
❼ 消去ロック表示
❽ リピート、ランダム再生表示
❾ ファイル番号
❿ フォルダ内総ファイル数
⓫ 情報、警告表示部

電池を入れる

1 矢印部分を軽く押しながら、電池ぶたをスライドさせて開ける

2 単4形電池(2本)の⊕と⊖を正しい向きで入れる

3 電池ぶたを完全に閉める

電池を交換するめやす

電池の残量に応じてディスプレイの電池残量表示が次のようにかわります。

→ → →

ディスプレイに マークが表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。
電池がなくなると、ディスプレイに「電池を交換して下さい」が表示され、動作が停止します。交換の際はアルカリ単４形電池の使用をおすすめします。

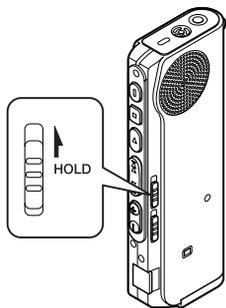
> 本機では、別売のオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用いただけます。オリンパス製充電器と併せてご利用ください（☞ P104）。

ご注意

- 電池の交換は必ず本機を停止状態（☞ P105）にしてから行ってください。
  本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなる恐れがあります。
- 電池を交換するときは、必ず２本とも新しい電池に交換してください。
- １分以上電池を抜いたときは、再び電池を入れた際に時刻の設定が必要になることがあります（☞ P19）。

電源について

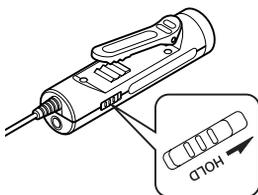
本機をお使いにならないときは、ホールドにすることで本機の電源が切れた状態になり、電池の消耗を最小限に抑えることができます。
電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。電源を入れるときは、HOLD スイッチを解除してください。

電源を切る

1 本機が停止中にHOLDスイッチをホールドにする

「ホールド」を2秒間点滅表示後、ディスプレイが消灯します。リモコンを接続している場合は手順2に進んでください。

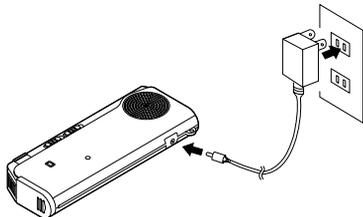
2 本機が停止中にリモコンのHOLDスイッチをホールドにする

ご注意

本機がホールド状態でも接続されたリモコンのホールドが解除されていれば、リモコンでのボタン操作は有効です。

電源を入れる

1 本機とリモコンのHOLDスイッチを解除する

ACアダプタを使用する

ACアダプタA324（別売）を家庭用電源のコンセントに差し込み、プラグを本機の電源ジャック（DC3V）に接続します。ACアダプタのプラグは、必ず本機を停止状態にしてから差し込んでください。電池で録音中にACアダプタのプラグを差し込むと、録音中の内容が再生できなくなる恐れがあります。

⚠ 警告

極性の違うものや出力電圧が3V以外のACアダプタは、絶対に使用しないでください。

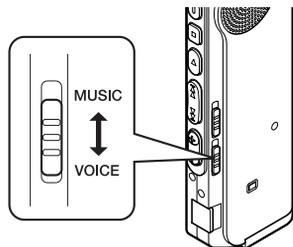
ACアダプタA324は日本国内専用です。外国では使用しないでください。

ACアダプタは誤った使い方をすると破損したり、火災や感電の原因になりますので、必ず専用のACアダプタA324を使用してください。

ACアダプタは、本機を停止状態にしてから取り外してください。

ACアダプタをお使いになったあとは必ずコンセントから抜いてください。

音声レコーダーと音楽プレーヤーの切り替え

本機は音声レコーダーと音楽プレーヤーの2種類の機能を備えています。
使用目的に合わせてモード（VOICE/MUSIC）スイッチを切り替えてください。

モードスイッチで**VOICE**か**MUSIC**を選ぶ

VOICE .... 用件を録音・再生するとき
MUSIC .... 音楽ファイルを再生するとき

本書で使われるアイコンについて

モードスイッチをVOICEに切り替えてから本機の操作を行ってください。

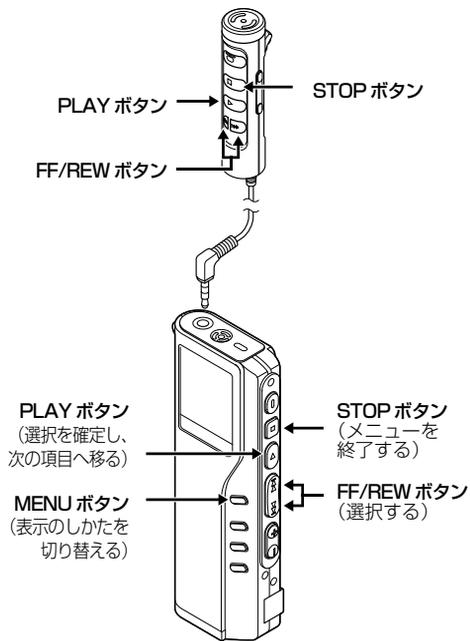
モードスイッチをMUSICに切り替えてから本機の操作を行ってください。

モードスイッチがVOICEでもMUSICでも本機の操作は可能です。

日付・時刻（TIME & DATE）を合わせる

日付と時刻を設定しておくと､｢いつ録音した｣という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために､あらかじめ設定しておくことをおすすめします。またアラーム再生を行うときに必要です（☞ P85）。

ご購入後初めてお使いになるときや、長い間お使いにならないで電池を入れたときは、「時計を設定して下さい」と表示されます。「時」表示が点滅したら、次の手順から設定をしてください。

リモコンマイクの接続時、本機と同じなまえのボタンは、本機と同様の働きをします

1 ｢時｣を設定する

① FFまたはREWボタンを押して｢時｣を設定します。

② PLAYボタンを押して､｢時｣を確定します。

- 時、分の設定中、MENU ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

（例）午後 5 時 45 分の場合
PM5 時 45 分 ⟷ 17 時 45 分
<初期設定>

2 ｢分｣を設定する

① FFまたはREWボタンを押して｢分｣を設定します。

② PLAYボタンを押して､｢分｣を確定します。

3 ｢年｣を設定する

① FFまたはREWボタンを押して｢年｣を設定します。

② PLAYボタンを押して､｢年｣を確定します。

- 年、月、日の設定中、MENU ボタンを押すたびに「年」「月」「日」表示の順序が切り替わります。

（例）2004 年 3 月 14 日の場合

2004 年 3 月 14 日
<初期設定> ↓
3 月 14 日 2004 年
↓
14 日 3 月 2004 年

4 「月」を設定する

① FFまたはREWボタンを押して「月」を設定します。

② PLAYボタンを押して、「月」を確定します。

5 「日」を設定する

① FFまたはREWボタンを押して「日」を設定します。

② PLAYボタンを押して、「日」を確定し、設定を完了させます。

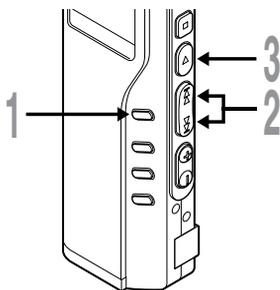
6 STOPボタンを押す

メニュー画面を終了します。

「日」を確定したときから本機の時計が動き始めます。時報などに合わせてPLAY ボタンを押してください。

ご注意

設定の途中にSTOPボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。

日付・時刻の設定をかえるには

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47、80)。

2 FFまたはREWボタンを押して時計設定を選ぶ

3 PLAYボタンを押す

「時」表示が点滅し、日付・時刻の設定を始めます。

以下は「日付・時刻を合わせる」の手順1からと同じです（☞ P19）。

ソフトウェアのインストール

本機をパソコンにつないでご使用になるには、同梱のCD-ROM「Voice-Trek DMシリーズ ユーティリティーソフトウェア」に含まれるソフトウェアをインストールしてください。

「Voice-Trek DM シリーズ ユーティリティーソフトウェア」に付属のアプリケーション

- DSS Player：本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理することができます。
- Windows Media Player：音楽CDから音楽データを音楽ファイルに変換（リッピング）したり、音楽ファイルを本機に転送できます。
- オンラインユーザー登録:オリンパスのインターネットサイトに接続し、オリンパスのユーザー登録を行います。

インストールの前に次のことをご確認ください

- 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
- フロッピーディスクドライブにディスクが入っている場合は抜いてください。
- OSにWindows2000、XP、Mac OS Xをご利用の場合はAdministrator（管理者）に所属しているユーザー名でログインしてください。

Windows

1 Windowsを起動する

2 付属の「Voice-Trek DMシリーズ ユーティリティーソフトウェア」をCD-ROMドライブに挿入する
自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順5に進み、起動しない場合は次の手順3、4にしたがって進んでください。

3 [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選ぶ

4 [名前:]に「D:¥Setup.exe」と入力して[OK]ボタンをクリックする
CD-ROMドライブがD:と仮定します。

5 「Voice-Trek DMシリーズ ユーティリティーソフトウェア」のオープニング画面が表示されたら、必要なソフトウェアを選択する

DSS Player のインストール

6 [使用許諾契約]
DSS Playerをインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。[はい]をクリックしてください。

7 [インストール先の選択]
DSS Playerのインストール先を変更するときは[参照]を、変更の必要がなければ[次へ]をクリックします。
変更しない場合は、C:¥Program Files ¥Olympus¥DSS Player 5となります。

8 [新しいフォルダの確認]
インストール先のフォルダが存在しない場合、作成確認の画面が表示されますので[はい]をクリックします。

9 [プログラム フォルダの選択]
プログラムフォルダの選択ができます。変更の必要がなければ[次へ]をクリックします。

10 [現在の設定]
現在の設定を確認します。よろしければ[次へ]をクリックし、プログラムフォルダやインストールフォルダを変えたいときは[戻る]をクリックし、変更してください。

11 ファイルコピーの開始
DSS Playerが自動的にインストールされますので、しばらくお待ちください。
このとき他の作業は行わないでください。

12 [Install Shield ウィザードの完了]
[完了]をクリックします。
自動的に手順5の画面に戻ります。

引き続きWindows Media Playerをインストールする方は「Windows Media Playerのインストール」を選択し手順13へ、Windows Media Playerをインストールしない方は手順16へ進んでください。

Windows Media Player のインストール

13 [製品ライセンス契約]
Windows Media Playerをインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。[はい]をクリックしてください。インストールを開始します。

14 [Select your Privacy Options]
この画面では個人情報オプションを設定できます。自分の環境にあったインストールをしたいときはチェックボックスのチェックを変更してください。通常はそのまま[次へ]をクリックしてください。

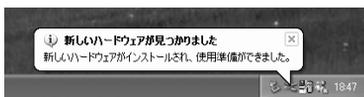
15 [Customize the Installation Option]
インストールのオプションを設定します。通常はそのままの設定で[終了]をクリックしてください。インストールが完了し、Windows Media Playerが起動します。操作を続ける場合はWindows Media Player の画面右上にある ☒ をクリックしてウィンドウを閉じてください。自動的に手順5の画面に戻ります。

引き続きオンラインユーザー登録をする方は「オンラインユーザー登録」を選択し、手順16へ進んでください。

オンラインユーザー登録

16 画面の文章をお読みになり、指示に従ってユーザー登録を行う
オンラインユーザー登録を行った場合は、同梱のご愛用者カードの送付は不要です。

ドライバのインストール

17 「パソコンに接続する」(☞ P50)を参考に、本機をパソコンに接続する
DSS Player をインストールして初めて本機をパソコンに接続すると、本機のドライバを自動的にインストールします。正常にドライバがインストールされると以下のように表示があらわれＤＳＳ Ｐｌａｙｅｒが自動的に起動します（ＤＳＳ Playerの操作方法は☞ P56以降を参照してください）。

Macintosh

1 Macintoshを起動する

2 付属の「Voice-Trek DMシリーズユーティリティーソフトウェア」をCD-ROMドライブに挿入する

DSS Player のインストール

3 以下のアイコンをダブルクリックする
(OS 9.x)
DSS Player for Mac Installer
(OS X)
DSS Player (for Mac) Installer OS X

4 DSS Playerのオープニング画面が表示されたら[続ける]をクリックする

5 [使用許諾契約]
DSS Playerをインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。同意いただける場合、[同意します]をクリックしてください。

6 [フォルダの選択]
DSS Playerのインストール先を指定します。変更の必要がなければ、[選択] をクリックします。
インストールを開始します。

7 インストールの完了
インストールが完了しました。[終了] をクリックしてください。OS 9.xにインストールした場合は、インストール完了後にコンピュータを再起動する必要があります。

オンラインユーザー登録

8 [オンラインユーザー登録]のアイコンをダブルクリックする
オンラインユーザー登録を行うとインターネットからユーザー登録ができます。
オンラインユーザー登録を行った場合は、同梱のご愛用者カードを送付する必要はありません。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを取り除くことをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなったときに行ってください。

Windows

1 DSS PlayerとWindows Media Playerを終了する

2 [スタート]メニューより[コントロールパネル]を選ぶ

3 コントロールパネルウィンドウ内にある[プログラムの追加と削除]をクリックする

4 インストールされているアプリケーションの一覧が表示されたら、アンインストールするソフトウェアを選ぶ

5 [変更と削除]をクリックする

6 [ファイル削除の確認]

[OK]ボタンをクリックするとアンインストールを開始します。

途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示にしたがって操作してください。

7 [メンテナンスの完了]の画面が表示されたら[完了]をクリックし、アンインストールを終了する

アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイル、音楽ファイルは「Message」フォルダに保存されています。不要な場合は削除してください。「Message」フォルダの場所は、アンインストールする前に［ツール］メニューの［オプション］をクリックし「ダウンロードフォルダ」の項目で確認できます。

Macintosh

1 DSS Playerを終了する

2 初期設定ファイルを削除する

以下の場所にある「DSS Preference」ファイルを削除してください。
（OS 9.x）
Macintosh HD：システムフォルダ：初期設定
（OS X）
Macintosh HD：ユーザー（User）：ライブラリ（Library）：Preferences

3 実行ファイルを削除する

インストールした場所にある「DSS Player for Mac」ファイルを削除してください。
OS Xをご利用の方は完了です。OS 9.xをご利用の方は手順 4 へ進んでください。

4 ドライバファイルを削除する

以下の場所にある次のファイルを削除してください。
システムフォルダ：機能拡張：
「DSS10USBDriver」
「DSS10USBShim」
「DSS1USBDriver」
「DSS1USBShim」
「DSSFSUSBDriver」
「DSSFSUSBShim」
「DSSUSBDriver」
「DSSUSBShim」

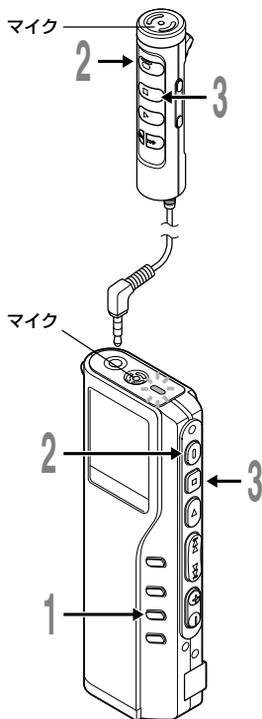
5 ヘルプファイルを削除する

以下の場所にある「DSS Player for Mac ヘルプ」ファイルを削除してください
システムフォルダ：ヘルプ

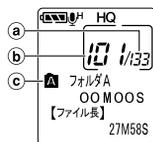
アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイル、音楽ファイルは「Message」フォルダに保存されています。不要な場合は削除してください。「Message」フォルダの場所は、アンインストールする前に［ツール］メニューの［オプション］をクリックし「ダウンロードフォルダ」の項目で確認できます。

録音する

本機には A B C D E の5つのフォルダがあり、各フォルダに録音した音声は1件ごとに「ファイル」として保存されます。Aフォルダはプライベート用、Bフォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。また各フォルダは区別しやすいように名前をつけることができます（☞ P92）。各フォルダごとに最大199件の用件を録音できます。

1 FOLDERボタンを押してフォルダを選ぶ

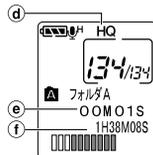
フォルダ名が表示されます。

ⓐ フォルダ内に録音済みのファイル総数
ⓑ 現在のファイル番号
ⓒ 現在のフォルダ名

2 RECボタンを押して録音を開始する

録音／再生表示ランプが赤く点灯します。*1

録音したい方向にマイクを向けます。*2

*1 リモコン接続時はリモコンの REC ランプが点灯し、本機の録音 / 再生表示ランプは点灯しません。
*2 リモコン接続時は本機の内蔵マイクは無効です。録音したい方向にリモコンの内蔵マイクを向けてください。

ⓓ 現在の録音モード
ⓔ 現在の録音時間
ⓕ 録音可能な残り時間

3 STOPボタンを押して録音を止める

ディスプレイの表示パターンをかえることができます（☞ P45）。本書でのディスプレイ表示は初期の状態を示します。

ご注意

- 頭切れを防ぐために、録音/再生表示ランプまたはリモコンのRECランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音中に録音可能な残り時間が60秒、30秒、10秒になったときに、警告音が鳴ります。
- ディスプレイに「メモリがいっぱいです」や「これ以上記録できません」と表示されたときは、メモリやファイル件数がいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P81）。
- DSS Player を使うとファイルをパソコンに転送して保存しておくことができます（☞ P57）。

録音に関する操作

一時停止する

録音中に REC ボタンを押します。

➥ ディスプレイの「録音ポーズ中」が点滅します。

- 録音一時停止のまま 10 分以上過ぎると停止状態になります。

一時停止を解除する

REC ボタンをもう一度押します。

➥ 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認する

録音中に PLAY ボタンを押します。

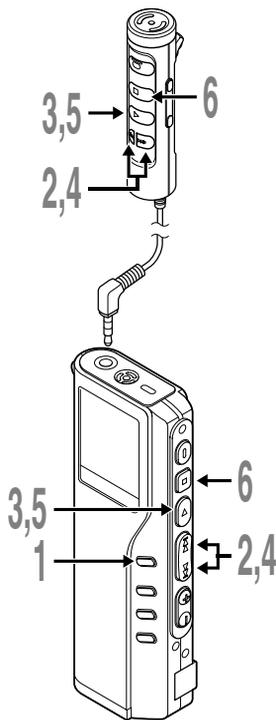
➥ 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音に関する設定

ご購入後すぐに高音質録音ができるよう HQ モードが設定されていますが、ほかにも標準的な状態で録音できるSPモードや長時間録音が可能なLPモードが設定できます。状況に応じた録音モードをお選びください。（ステレオマイクをご利用になると、ステレオ録音が可能なSHQ モードが自動的に設定されます。）
また本機は、メモリの節約ができる音声起動録音機能やマイク感度も設定できます。詳しくは下記のページを参照してください。

録音モード：HQ (高音質録音) モード／
SP (標準録音) モード／
LP (長時間録音) モード／
SHQ (ステレオ高音質録音) モード／（☞ P33）
マイク感度：会議／口述（☞ P34）
音声起動録音：OFF/ON（☞ P29）
(VCVA)

音声起動録音（VCVA）のしかた

音声起動録音（VCVA）とは、設定した起動感度よりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。
会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

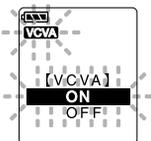
メニュー画面に入ります(☞ P47)。

2 FFまたはREWボタンを押してVCVAの設定画面を表示する

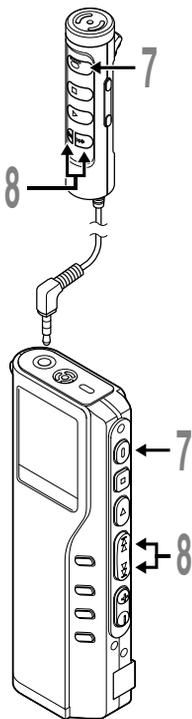
3 PLAYボタンを押す

VCVAの設定を始めます。

4 FFまたはREWボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…以降は音声起動録音になります。
OFF…通常の録音に戻ります。

5 PLAYボタンを押して設定を完了する

6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

「ON」を選択したときはディスプレイのVCVA表示が点灯します。

7 RECボタンを押して録音を開始する

設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音が一時停止します。このときディスプレイに「待機中」が点滅します。録音起動中は録音/再生表示ランプが赤く点灯し*、一時停止すると点滅します。

* リモコン接続時はリモコンのRECランプが点灯し、本機の録音/再生表示ランプは点灯しません。

8 録音中にFFまたはREWボタンを押してVCVAの起動レベルを調節する

ディスプレイにVCVA起動レベルが15段階（1〜15）で表示されます。数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

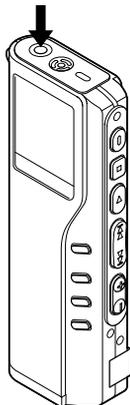
ⓐ **レベルメータ**（録音音量に合わせて変化します）
ⓑ **起動レベル**（設定レベルに応じて左右に動きます）

ディスプレイの表示パターンをかえることができます（☞P45）。本書でのディスプレイ表示は初期の状態を示します。

ご注意

- 起動レベルは設定されているマイク感度によっても異なります（☞P34）。
- 起動レベルの調節は2秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じてVCVAの起動感度を調節することができます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で起動感度を調節することをおすすめします。

外部マイクでの録音

付属のリモコンマイクや別売りの外部マイクを接続し、音声を録音することができます。
ステレオマイク(一部の機種に付属)を接続すればSHQ（ステレオ高音質録音）モードでの録音が可能です。
本機のジャックはリモコン、イヤホン、マイクの兼用で、本機のジャックにマイクを挿入すると自動的に切り替えを行います。

1 本機が停止状態であることを確認する

2 本機のジャックに接続する

本機のジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。

ご使用いただける外部マイク

● **リモコンマイク：MR12（付属）**

無指向性のマイクロホンを内蔵しております。クリップを使ってご自身の洋服のポケットなどにつけることができます。
ご自身の声や近くの人の声を録音する場合に使用します。

● **単一指向性マイクロホン：ME12（別売）**

周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。

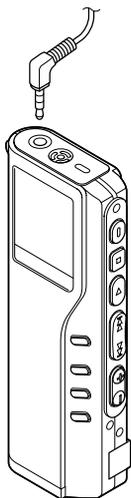
● **ステレオマイクロホン：ME51S（一部の機種に付属）**

ステレオならではの臨場感のある録音ができます。しかもWMA形式でノイズの少ないクリアな音質が得られます。ステレオ録音はSHQモードのみ可能です。
本機のジャックにステレオマイクを挿入すると、自動的にSHQモードに切り替わります。

ご注意

- 本機のジャックへの抜き差しは、録音などの動作中に行わないでください。
- リモコン接続時、リモコンのＥＡＲジャックにイヤホンが挿入してあると録音できません。
- リモコンマイクでの録音中に、リモコンのＥＡＲジャックへの抜き差しを行うと本機が停止しますので、リモコンのＥＡＲジャックへの抜き差しは動作中に行わないでください。

録音中の音声を聞く（録音モニター）

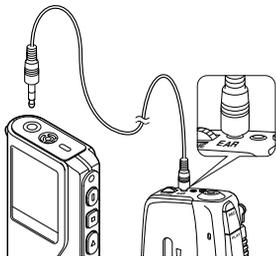
イヤホンを本機のジャックに差し込んでから録音を開始すると、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は VOL（＋）または VOL（－）ボタンを押して調節できます。

1 本機が停止状態であることを確認する

2 本機のジャックにイヤホンを接続する

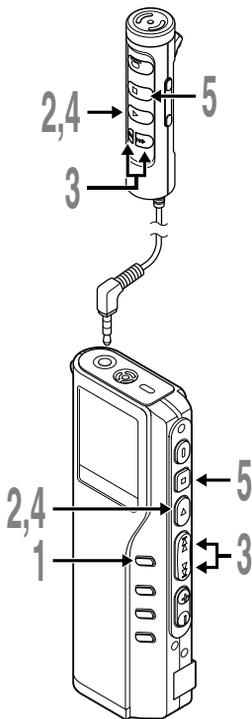
録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。

ご注意

- 外部マイクでの録音中には、録音モニターはできません。
- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- リモコンマイクを使った録音で、リモコンのＥＡＲジャックにイヤホンを接続しても録音モニターはできません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を0にしてからイヤホンを入れてください。

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器のイヤホン（ヘッドホン）ジャックと本機のジャックをコネクティングコードでつなぐと、その音声を録音することができます。外部入力（EXT. INPUT）を設定する必要がありますので、詳しくは別紙「お役立ちＱ＆Ａ」をご覧ください。

録音モード(REC MODE)をかえる

録音モードは、HQ（高音質録音)、SP（標準録音)、LP（長時間録音）から選ぶことができます。また、ステレオマイク(一部の機種に付属)を利用すればSHQ（ステレオ高音質録音）モードでの録音が可能になります（☞ P31）。

1 MENUボタンを1秒以上押す

ディスプレイに「録音モード」が表示されます(☞ P47)。

2 PLAYボタンを押す

録音モードの設定を始めます。

3 FFまたはREWボタンを押して「HQ」「SP」「LP」を選ぶ

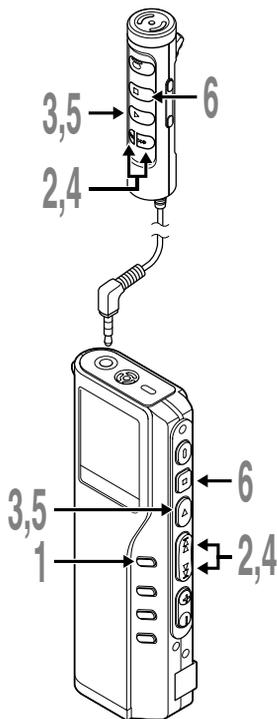
4 PLAYボタンを押して設定を完了する

5 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合は、SHQ/HQまたはSPモードに設定して録音してください。
- 本機のジャックにステレオマイクを挿入すると、録音モードが自動的にSHQモードに切り替わります。HQ、SP、LPモードでの録音はできません（☞ P31）。

マイク感度（MIC SENSE）をかえる

使用目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えることができます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47)。

2 FFまたはREWボタンを押してマイク感度の設定画面を表示する

3 PLAYボタンを押す

マイク感度の設定を始めます。

4 FFまたはREWボタンを押して「会議」か「口述」を選ぶ

会議…周囲の音も録音できる高感度モードです。

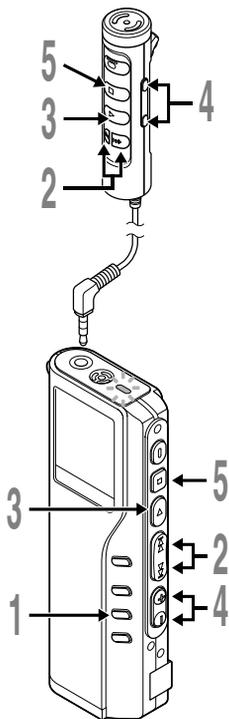
口述…口述録音に適した通常感度モードです。

5 PLAYボタンを押して設定を完了する

6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合は口述モードにして、本機の内蔵マイク（リモコンの内蔵マイク）を話し手の口を近づけて（5～10cm）録音してください。
- 口述モードで録音しても、周囲の雑音が録音に影響する場合は単一指向性マイクロホン ME12（別売）のご使用をおすすめします。

再生する

1 FOLDERボタンを押してフォルダを選ぶ

2 FFまたはREWボタンを押して再生したいファイルを選ぶ

FFまたはREWボタンを押し続けると、連続してファイルの頭出しをします。

3 PLAYボタンを押して再生を開始する

録音/再生表示ランプが緑色に点灯します。

ⓐ 再生中のファイルの経過時間
ⓑ 再生中のファイルのトータル時間

HQ
101/135
フォルダA
ⓐ 00M25S
【ファイル長】
ⓑ 27M58S

4 VOL(+)またはVOL(−)ボタンを押して聞きやすい音量にする

ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0〜30)で表示されます。

5 STOPボタンを押して再生を停止する

再生していたファイルの途中で停止します。PLAYボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

ディスプレイの表示パターンをかえることができます(☞P45)。本書でのディスプレイ表示は初期の状態を示します。

その他の操作	操作	解除方法
早聞き（F.PLAY）	再生中に PLAY ボタンを押す＊1 ➥ 通常の約 1.5 倍の速さで再生します。	PLAY ボタンを 2 回押す ➥通常の再生に戻ります。
遅聞き（S.PLAY）	早聞き再生中に PLAY ボタンを押す＊1 ➥ 通常の約 0.75 倍の速さで再生します。	PLAY ボタンを押す ➥通常の再生に戻ります。
早送り（CUE）	再生中に FF ボタンを押し続ける ➥ ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに FF ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。	FF ボタンから手を離す ➥元の速さで再生します。
早戻し（REVIEW）	再生中に REW ボタンを押し続ける ➥ ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに REW ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。	REW ボタンから手を離す ➥元の速さで再生します。
頭出し＊2	再生中、早聞き・遅聞き再生中に FF ボタンを押す＊3 ➥ 次のファイルの頭出しをして、元の速さで再生を始めます。	―――
	再生中、早聞き・遅聞き再生中に REW ボタンを押す＊3 ➥ 再生中のファイルの頭出しをして、元の速さで再生を始めます。	―――

＊1 早聞き・遅聞き再生のときも通常再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク（☞ P43）の挿入などの操作ができます。

＊2 停止中に FF または REW ボタンを押し続けると、連続してファイルの頭出しを行います（スキップ／逆スキップ）。

＊3 ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、インデックスマークの位置で再生を始めます。

ご注意

- ノイズキャンセル機能を「LOW」または「HIGH」に設定すると、早聞き・遅聞き再生ができません（☞ P42）。
- 少し前再生（☞ P39）を設定すると、REW ボタンを押しても頭出しやインデックスマーク（☞ P43）の位置にはスキップしません。

イヤホンで聞くとき

本機のジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。リモコン接続中はリモコンのEAR ジャックに差し込んでください。

イヤホンを接続するとスピーカから音は出ません。

ご注意

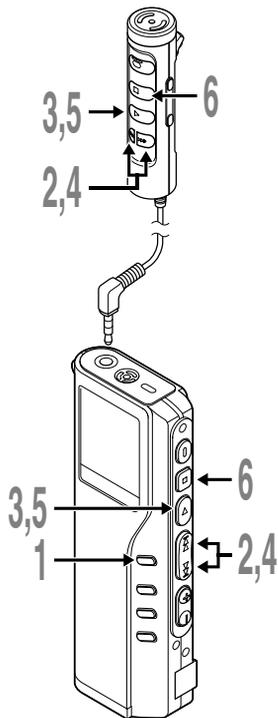
- 耳への刺激を避けるため、ボリュームレベルを0にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- 本機でファイルを再生する場合は、モノラル録音されたファイルであっても、イヤホンの両耳から音がでます。
- ボリューム付きイヤホンやアンプ内蔵の外部スピーカをご使用になりたい場合は、リモコンを本機のジャックに接続し、リモコンのEAR ジャックに接続してください。

再生に関する設定

ご購入時は、1つのファイルを再生し終わると自動的に停止するように設定されていますが、そのまま次のファイルを連続して再生させることもできます。
また本機は、繰り返し再生するリピート再生機能や、聞き取りやすいように周囲の雑音を軽減するノイズキャンセル機能を備えています。詳しくは下記のページを参照してください。

連続再生：　ON/OFF（☞ P38）
リピート再生：　設定（☞ P40）
少し前再生：　OFF/1 秒 /2 秒（☞ P39）
ノイズキャンセル：OFF/LOW/HIGH（☞ P42）

連続再生（ALL PLAY）のしかた

再生中のファイルが終了後も、連続して次のファイルを再生することができます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47)。

2 FFまたはREWボタンを押して連続再生の設定画面を表示する

3 PLAYボタンを押す

連続再生の設定を始めます。

4 FFまたはREWボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

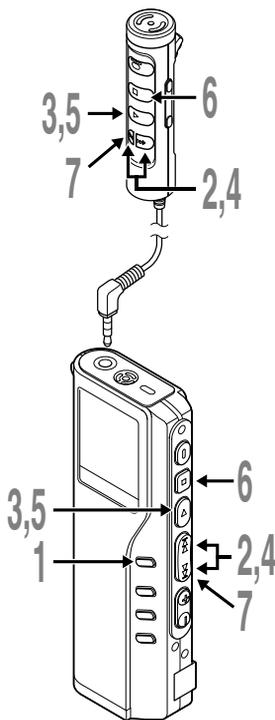
ON…以降は連続再生になります。
OFF…通常の再生に戻ります。

5 PLAYボタンを押して設定を完了する

6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルごとに再生を終了させたくないときは「ON」を選択してください。フォルダ内の最終ファイルまで再生すると、「最終ファイルエンド」が表示され、再生が停止します。

少し前再生（BACK SPACE）のしかた

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生することができる機能で、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47)。

2 FFまたはREWボタンを押して少し前再生の設定画面を表示する

3 PLAYボタンを押す

少し前再生の設定を始めます。

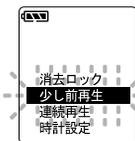
4 FFまたはREWボタンを押して「OFF」「1秒スキップ」「2秒スキップ」を選ぶ

OFF…通常の頭出しを行います。
1秒スキップ…1秒戻って再生を始めます。
2秒スキップ…2秒戻って再生を始めます。

5 PLAYボタンを押して設定を完了する

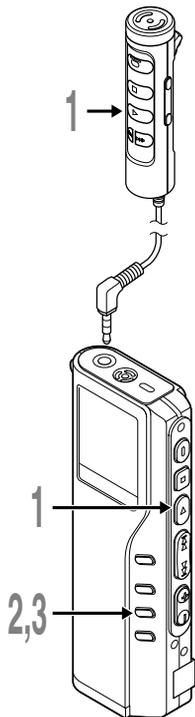
6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

7 ファイルを再生中にREWボタンを押す

設定した秒数を戻って再生を始めます。

ご注意

- 少し前再生を設定すると、REWボタンを押しても頭出し（☞ P36）やインデックスマーク（☞ P43）の位置にはスキップしません。

リピート再生する

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生することができる機能です。また連続再生機能を併用すれば、同じフォルダ内であればファイルを超えて繰り返し再生することもできます。

1 リピート再生したいファイルを選び、PLAYボタンを押す

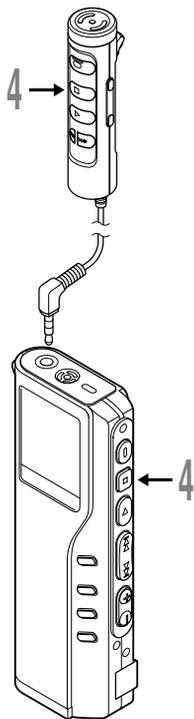
ファイルの再生を開始します。

2 リピート再生を開始させたい位置でREPEATボタンを短く押す

終了位置を指定するまで「リピート再生終了位置？」が点滅します。

3 リピート再生を終了させたい位置で、もう一度REPEATボタンを短く押す

リピート再生を解除するまで、開始位置と終了位置の間を繰り返し再生します。

連続再生を「ON」(☞ P38)に設定すれば、フォルダ内の最終ファイルまで終了位置の設定が可能です。

4 STOPボタンを押して停止する

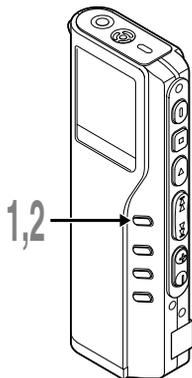
リピート再生を解除します。

リピート再生のときも通常再生と同じように、早聞き・遅聞き再生、インデックスマークの挿入・消去、ノイズキャンセル機能の設定などができます。

ご注意

- FF/REWボタン操作でリピート区間を超えると、リピート再生が解除されます。
- FF ボタンを 1 回押すか、FF ボタンを押し続けると、再生中のファイルの最後に到達します。
- REPEATボタンは短く押してください。1 秒以上押し続けるとファイル移動の設定画面が表示されます（☞ P95）。

ノイズキャンセルを設定する

録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

1 再生中にMENUボタンを1秒以上押す

現在設定されているノイズキャンセルレベルが表示されます。

2 もう一度MENUボタンを押してノイズキャンセルレベルをかえる

MENUボタンを押すたびに、「OFF」「LOW」「HIGH」の順番でノイズキャンセルレベルが切り替わります。

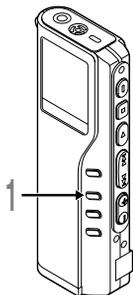
再生開始直後の変更

ノイズキャンセルレベルが「LOW」または「HIGH」に設定されているときは、再生開始時に２秒間ノイズキャンセルレベルが表示されます。この表示中にMENUボタン押すと「OFF」「LOW」「HIGH」が切り替わります。

ご注意

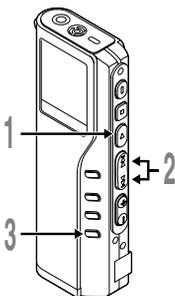
- 現在の設定が点滅中にノイズキャンセルレベルを変更しないと、表示中のレベルで確定され、表示が元に戻ります。
- ノイズキャンセルレベルを「LOW」または「HIGH」にすると、その設定は「OFF」にするまで有効になります。
- ノイズキャンセルレベルを「LOW」または「HIGH」にすると、早聞き・遅聞き再生ができません。
- SHQモードで録音されたファイルにノイズキャンセルを設定すると、モノラルで再生されます。

インデックスマークをつける

1 つのファイル内で聞きたい位置をすばやく探すことができるように、インデックスマークをつけることができます。インデックスマークがあると、再生中にFF またはREW ボタンを操作することで、すばやく聞きたい位置から再生できます。

インデックスマークをつける

1 録音中または再生中にINDEXボタンを押してインデックスマークをつける

ディスプレイにインデックス番号が表示され、インデックスマークがつきます。

インデックスマークをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックスマークをつけることができます。

インデックスマークを消去する

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

2 FFまたはREWボタンを押して消去したいインデックスマークを選ぶ

3 ディスプレイにインデックス番号が表示されている間(約2秒間)にERASEボタンを押す

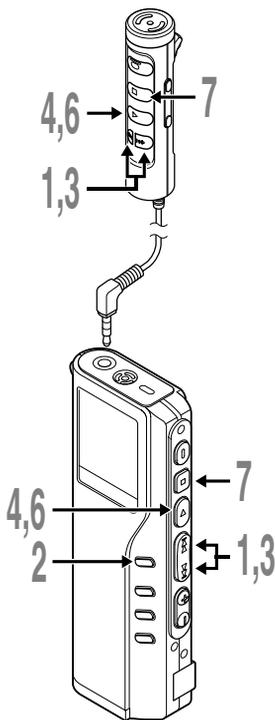
インデックスマークが消去されます。

消去したインデックスマーク以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- インデックスマークは 1つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスマークをつけようとすると、「これ以上記録できません」と表示されます。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスマークをつけたり消去することができません。(☞ P84)
- WMA ファイルは本機またはオリンパス製IC レコーダーで録音したファイルに限りインデックスマークをつけることができます。
- 少し前再生（☞ P39）を設定すると、REW ボタンを押しても頭出し（☞ P36）やインデックスマークの位置にはスキップしません。

コメント（COMMENT）をつける

全角 50 文字（半角 100 文字）以内で録音したファイルにコメントをつけることができます。日付や時間だけでなくさらに多くの情報を盛り込むことで、録音したファイルの内容や状況などがひと目で分かるようになります。

1 FFまたはREWボタンを押してコメントを設定したいファイルを選ぶ

2 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47)。

3 FFまたはREWボタンを押してコメントの設定画面を表示する

4 PLAYボタンを押す

コメントの設定を始めます。

5 文字の入力をする

本機で文字入力を行う場合は「フォルダ名をつける」の手順6(☞ P92)を、パソコンで入力を行う場合は「コメントを編集する」(☞ P63)をご覧ください。

6 コメントを入力し終わったらPLAYボタンを1秒以上押し続ける

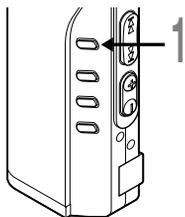
コメントの入力を完了します。

7 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

WMA ファイルは本機またはオリンパス製 IC レコーダーで録音したファイルに限りコメントをつけることができます。

ディスプレイ表示をかえる（音声レコーダー編）

本機はディスプレイ表示の切り替えが可能です。停止・再生中または録音中にDISPLAYボタンを押すとディスプレイ表示が切り替わり、ファイルに関する情報や本機の状態が確認できます。

1 DISPLAYボタンを押す

DISPLAYボタンを押すたびにディスプレイの表示パターンがかわります。

停止・再生中の表示パターン

①から⑥を繰り返し表示します。ただしファイル数が0件のときは⑤と⑥を交互に表示します。

① ファイル長

ファイルの長さを表示します。

⑥ 現在日時

現在日時を表示します（再生中は【現在日時】表示部分がカウンター表示）。

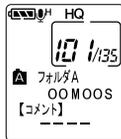
② タイムスタンプ

録音した年･月･日を表示します。

⑤ メモリ残量

録音可能な残り時間を表示します。

③ タイムスタンプ

録音した月･日･時･分を表示します。

④ コメント

ファイルに対するコメントを表示*します（コメントが未入力のときは「－－－－」を表示）。

＊ 文字数が多いときは横にスクロールして表示します。（停止中はコメントが 1 周した後 1 行目を表示、再生中はコメントを繰り返し表示）

録音中の表示パターン

①と②を交互に表示します。

① 録音レベルメータ

音声の入力レベルをグラフィックで、録音可能な残り時間をカウントダウン形式で表示します。

② メモリ残量バー

録音可能な残り時間を、バー形式およびカウントダウン形式で表示します。

VCVA 録音中の表示パターン

①と②を交互に表示します。

① VCVA録音レベルメータ

音声の入力レベルと起動レベルをグラフィックで、録音可能な残り時間をカウントダウン形式で表示します（VCVA起動レベルに達していないときは「待機中」表示）。

② メモリ残量バー

録音可能な残り時間を、バー形式およびカウントダウン形式で表示します。

メニューの一覧（音声レコーダー編）

MENUボタンを1秒以上押す

メニュー	参照	設定	内容
録音モード / REC MODE	(☞P33)	HQ	高音質録音モード
		SP	標準録音モード
		LP	長時間録音モード
マイク感度 / MIC SENSE	(☞P34)	会議	高感度モード
		口述	通常感度モード
消去ロック / LOCK	(☞P84)	OFF	設定の解除
		ON	消去ロックの実行
少し前再生 / BACK SPACE	(☞P39)	OFF	設定の解除
		1秒スキップ	1秒前に逆スキップ
		2秒スキップ	2秒前に逆スキップ
連続再生 / ALL PLAY	(☞P38)	OFF	設定の解除
		ON	連続再生の実行
時計設定 / TIME & DATE	(☞P19)	<時刻日付設定画面> 12時間表示／年・月・日	年・月・日・時・分の設定
初期化 / FORMAT	(☞P97)	キャンセル	初期化のキャンセル
		開始	本機の初期化
言語選択 / LANGUAGE	(☞P91)	日本語	日本語表示
		ENGLISH	英語表示
コントラスト / CONTRAST	(☞P88)	<コントラスト設定画面> 6	コントラストの設定
ビープ音 / BEEP	(☞P90)	ON	ビープ音の設定
		OFF	設定の解除
バックライト / BACKLIGHT	(☞P89)	ON	バックライトの点灯
		OFF	設定の解除
外部入力 / EXT.INPUT	(☞P32)	自動切替	入出力の自動切替
		ステレオ入力	ステレオ入力に固定
		モノラル入力	モノラル入力に固定
コメント / COMMENT	(☞P44)	<文字入力画面>	コメントの入力
フォルダ名 / FOLDER NAME	(☞P92)	<フォルダ選択画面>	フォルダ名の入力
アラーム再生 / ALARM	(☞P85)	OFF	設定の解除
		ON	アラームの実行
VCVA	(☞P29)	OFF	設定の解除
		ON	VCVAの実行

上段：日本語表示
下段：ENGLISH表示

MENU ボタンを押す

FF または REW ボタン（選択ボタン）を押す

PLAYボタン（決定ボタン）を押す

初期設定

ご注意

- 一部のメニューは音楽モードと共通です。
- メニューの設定中にSTOPボタン、RECボタンを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- メニューの設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

DSS Playerを使う

本機はパソコンと接続し、DSS Playerを使うことで次のようなことができます。
- パソコンで音声ファイルを再生する
- 本機の音声ファイルをハードディスクにバックアップしたり、パソコンから本機にファイルを転送する
- 本機に保存している音楽ファイルの曲順を変更する

本機をパソコンに接続して扱うときの注意事項

●本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードするときはパソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音/再生表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB接続ケーブルを外さないでください。また、USB接続ケーブルを外す場合は、必ず☞P51に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

●パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合は正しく初期化されません。初期化は、本機のメニュー画面から行ってください（☞P97）。

●Windowsに付属の「エクスプローラ」や、Mac OSに付属の「Finder」などで表示されるフォルダ（ディレクトリ）名は本機およびDSS Playerで設定できるフォルダ名とは異なります。

●「エクスプローラ」や「Finder」などのファイル管理ツールを使用して、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。

●パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。

●ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続するときは、リモコンやイヤホンを外してください。

オンラインヘルプの使いかた

オンラインヘルプを表示するには、次のいずれかを行ってください。

(Windows)

- [スタート] → [すべてのプログラム] → [Olympus DSS Player 5] → [ヘルプ] を選択する。
- DSS Playerを起動した状態で、[ヘルプ] メニューから [ヘルプを開く] を選択する。
- DSS Player を起動した状態で、キーボードの [F1] キーを押す。

(Macintosh)

- DSS Player を起動した状態で、[ヘルプ] メニューから [DSS Player for Mac ヘルプ] を選択する。

目次で検索する

1 オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする

2 検索したい項目の📚をダブルクリックする

選択項目のタイトルが表示されます。

3 検索したい項目の[?]をダブルクリックする

選択項目の説明が表示されます。

キーワードで検索する

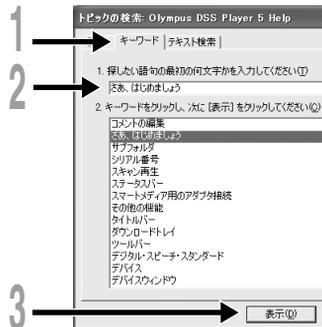
1 オンラインヘルプを表示させてから、キーワードのタブをクリックする

検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

2 文字を入力する

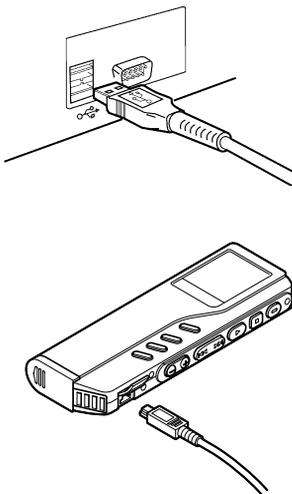
自動的に検索されます。

3 項目を選択して[表示] をクリックする

選択項目の説明が表示されます。

ご注意

本書はDSS Playerの基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプはDSS Playerのインストール後から使用できます。

パソコンに接続する

本機の接続は、必ずDSS Player をインストールしてから行ってください（☞ P21）。

直接パソコンに接続する

1 **HOLDスイッチを解除する**

2 **USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する**

3 **本機が停止(☞ P105)していることを確認し、USB接続ケーブルを本機のパソコン接続端子に接続する**

USB接続中は、本機のディスプレイに「PCと通信可能です」と表示されます。

Windows

本機を接続し「マイコンピュータ」を開くと「リムーバブルディスク」 ドライブとして表示されます。

Macintosh

Mac OSに本機を接続するとデスクトップ上に「unlabeled」または 「名称未設定」 というドライブ名でアイコンが表示されます。

ご注意

DSS Playerをインストールする前に本機を接続すると[ハードウェアの更新ウィザード] 画面が表示されます。その場合は [キャンセル] ボタンでウィザードを中断し、DSS Player のインストールを行ってください。

パソコンから外す

Windows 98/98 SE

1 本機の録音／再生表示ランプが点滅していないことを確認し、マイコンピュータ上のリムーバブルディスクアイコンを右クリックし、[取り出し]を選ぶ

2 USB接続ケーブルを外す

Windows Me/2000/XP

1 画面右下のタスクバーの をクリックし、[USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します]をクリックする

Windows Meでは[USBディスク－ドライブの停止]と表示します。
お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら[OK]をクリックする

3 USB接続ケーブルを外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のドライブアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する

2 USB接続ケーブルを外す

ご注意

- パソコンと接続すれば、付属のUSB接続ケーブルより電源が供給されますので、本機に電池やACアダプタからの電源供給は必要ありません。
- パソコンのUSBポートまたはUSBハブについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB接続ケーブルは、必ずパソコン本体のUSBポートまたはセルフパワー（ACアダプタ接続）のUSBハブに接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- HOLDスイッチは解除してください。

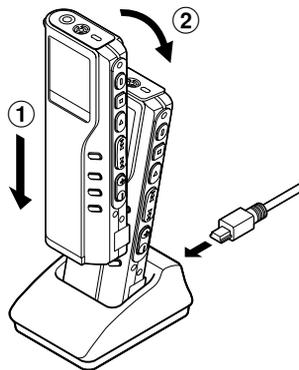
クレードルを使ってパソコンに接続する

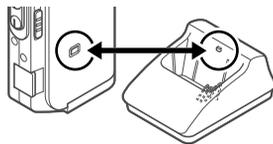
クレードルに装着する

1 USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する

2 USB接続ケーブルをクレードルに接続する

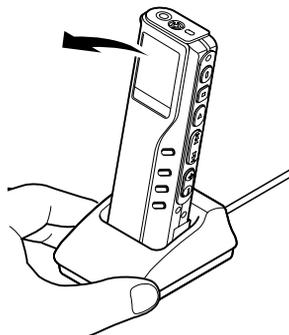
3 本機が停止していることを確認し、クレードルに装着する

① 本機を垂直に入れてください。

② 本機の上部を倒すようにして、クレードルに装着します。このとき本機裏面の凹とクレードルの凸がはまっていることを確認してください。

USB接続中は、本機のディスプレイに「PCと通信可能です」と表示されます。

クレードルから取り外す

「パソコンから外す」（☞ P51）の手順 1 を行う

1 本機の録音/再生表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をクレードルから取り外す

クレードルを手で押さえながら、本機のマイク付近を手前に持ち上げ、フックを外してください。

ご注意

- 接点部に触れたり、曲げたりしないでください。
- クレードルには充電機能はありません。ニッケル水素電池をご利用の場合でも本機には充電できません。

DSS Playerを起動する

Windows

本機をパソコンに接続すると自動的にDSS Playerを起動できます。

自動起動の設定を停止する場合

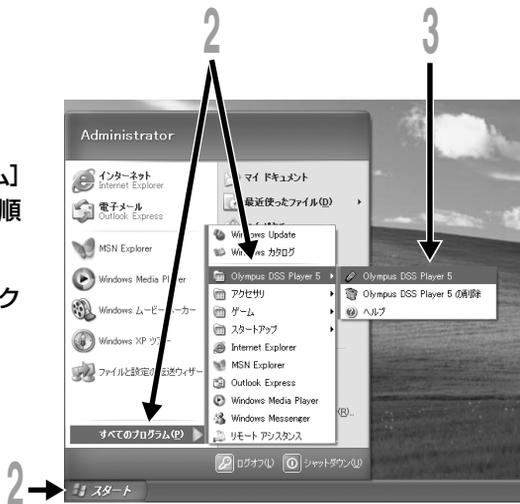
1 画面右下のタスクバーの を右クリックし、[自動検出アプリケーション]を選ぶ

2 「DSS Player 5」を選択し、クリックする
「DSS Player 5」についていたチェックが消えます。再び自動起動する場合はもう一度クリックしてチェックを入れてください。

手動で起動する場合

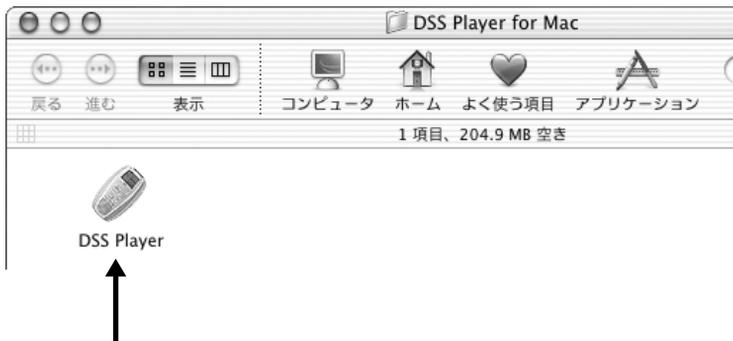
1 Windowsを起動する

2 [スタート]→[すべてのプログラム]→[Olympus DSS Player 5] の順に選ぶ

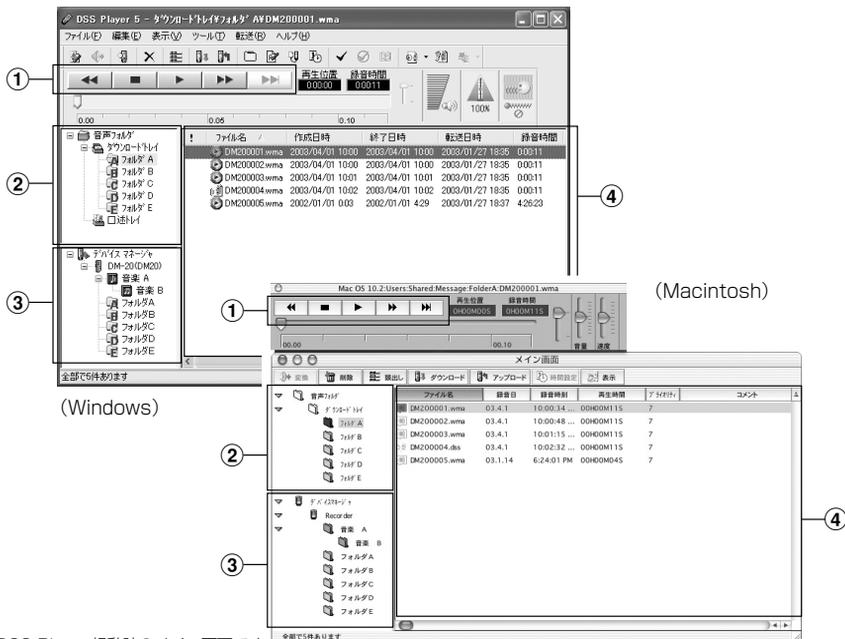
3 [Olympus DSS Player 5] をクリックする

ご注意

- 複数のDSS Playerを同時に起動させることはできません。
- DSS Playerをインストールする前に本機を接続すると［ハードウェアの更新ウィザード］画面が表示されます。その場合は［キャンセル］ボタンでウィザードを中断し、DSS Player のインストールを行ってください。

Macintosh

起動するにはインストール時に作成される「DSS Player for Mac」フォルダを開き、 をダブルクリックします。

ご注意

DSS Player for Mac には自動起動機能はありません。

ウィンドウのなまえ（DSS Player）

＊DSS Player 起動時のメイン画面です

① 再生コントロールボタン

ファイルの再生や、停止など操作を行うボタンが配置されています。

② 音声フォルダウィンドウ

パソコン内のDSS、WMA、WAVE（Windowsのみ）、AIFF（Macintoshのみ）形式ファイルが入ったフォルダを階層表示します。

③ デバイスウィンドウ

本機内のフォルダを階層表示します。

④ 音声ファイル一覧ウィンドウ

②、③ で選択されているフォルダ内のファイルを表示します。

録音した音声をパソコンに取り込む

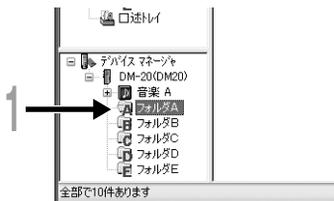
本機からファイルをパソコンに取り込むことをダウンロードと呼びます。DSS Player では、ファイルをパソコンにダウンロードする方法として次の３つがあります。

- 選択ファイルのダウンロード
  １つ、または複数のファイルを選択してパソコンに取り込みます。
- フォルダのダウンロード
  フォルダ内にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
- すべてのダウンロード
  ダウンロードアイコン をクリックして、本機にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。

ここでは「選択ファイルのダウンロード」について説明します。「フォルダのダウンロード」や「すべてダウンロード」については、オンラインヘルプをご覧ください。

選択ファイルのダウンロード

1 フォルダを選ぶ

デバイスウィンドウでダウンロードしたいファイルが入ったフォルダを選びます。図では、フォルダA が選択されています。

2 ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウからダウンロードしたい音声ファイルを選択します。複数選択する場合は、[Ctrl] キーまたは [Shift] キーを押しながら選びます。図では1つのファイルが選択されています。

3 ファイルをダウンロードする

(Windows)
[転送] メニューから [選択ファイルのダウンロード]をクリックします。
(Macintosh)
[ダウンロード] メニューから [選択ファイルのダウンロード]をクリックします。

4 ダウンロードの完了

パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音/再生表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB接続ケーブルを外さないでください。
USB接続ケーブルを外す場合は、必ず☞P51に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

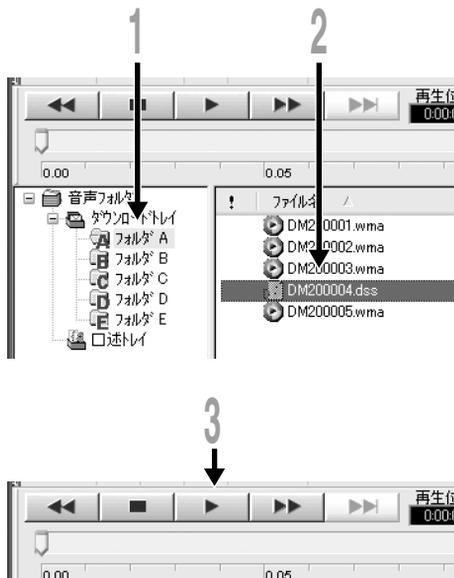
ご注意

- 録音/再生表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- ファイルのサイズやパソコンによってはダウンロードに時間がかかることがあります。
- ダウンロード先は、本機のフォルダと対応した、ダウンロードトレイのフォルダに保存されます。
  (例) 本機のフォルダAからダウンロードしたファイルは、パソコン上のダウンロードトレイのフォルダAに保存されます。
- 同じファイル名がすでにあるときは、録音日時が異なる場合のみ別のファイル名で保存されます。

ファイルを再生する

1 フォルダを選ぶ
再生したいファイルが入っているフォルダを選びます。
図では取り込み済みのファイルを指定するため、音声フォルダウィンドウのフォルダAを選択しています。

2 ファイルを選ぶ
音声ファイル一覧ウィンドウから再生したいファイルを選びます。
図では「DM200004.dss」* ファイルが選択されています。

3 ファイルを再生する
再生コントロールバーの再生ボタン ▶ を押します。

その他の早戻し、早送り、停止、再生速度、音量、時間軸、インデックスマークスキップなどは、再生コントロールバーで操作できます。詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

＊ DM20 0004.dss

拡張子：SHQ、HQ モードで録音したファイルは WMA 形式になり、拡張子が wma にかわります。

ファイル番号：本機が自動的につける連続した数字。

ユーザ ID：本機に設定されたファイル名で初期値は DM30、DM20 または DM10。
ユーザ ID は変更可能です（☞ P62）。

3
ファイルを再生する

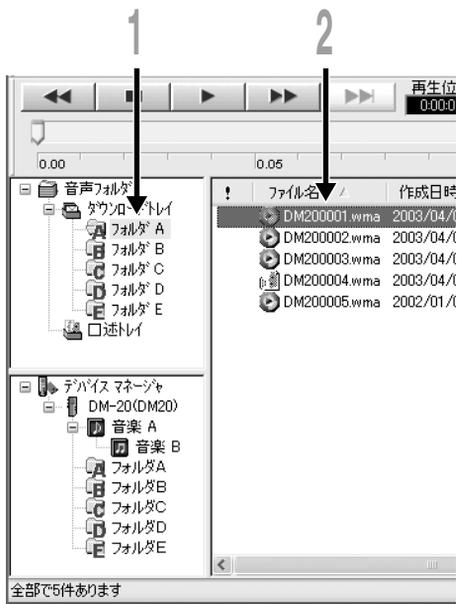
ファイルを本機に転送する

DSS Player には、パソコンにあるファイルを本機に転送（アップロード）する機能があります。

1 フォルダを選ぶ
音声フォルダウィンドウから、転送したいファイルの入っているフォルダを選びます。

2 ファイルを選ぶ
音声ファイル一覧ウィンドウから、転送したいファイルを選びます。

3 転送先フォルダを選ぶ
(Windows)
［転送］メニューから［ファイルのアップロード］を選択、またはアップロードアイコンをクリックします。転送先フォルダ一覧のウィンドウが表示されたら、転送先フォルダを選んでください。
(Macintosh)
［ダウンロード］メニューから［アップロード］をクリックします。転送先フォルダ一覧のウィンドウが表示されたら、転送先フォルダを選んでください。

4 ファイルを転送する
ファイルが本機に転送されます。

5 アップロードの完了

通信中の画面が消え、本機の録音／再生表示ランプが消えたらアップロードの完了*です。

* めやすとして、通信中の画面が消えてから5秒以上（Windows2000/XPは12 秒以上）でアップロードの完了です。

音声ファイル一覧ウィンドウから転送したいファイルを選び、音声フォルダウィンドウのフォルダにドラッグ＆ドロップ（マウスの左ボタンを押したまま移動し、移動先でボタンを離す）して転送することもできます。

ご注意

- 録音/再生表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- 本機のフォルダ内に同じ名前のファイルがある場合は転送できません。

ファイルを E-mail で送信する

音声ファイルはハードディスク上の「Message」フォルダの中に保存されています。E-mail に添付して音声ファイル送信する場合には「Message」フォルダの中からファイルを選択してください。

「Message」フォルダの設定されている場所は、[ツール] メニューの [オプション] をクリックし、「ダウンロードフォルダ」の項目で確認できます。

メールの受信相手に DSS Player がなくても、DSS Player-Lite を使えばファイルを再生できます。DSSPlayer-Lite はオリンパスホームページ、http://www.olympus.co.jp から無償でダウンロードできます。

本機のユーザ ID を変更する

本機で録音される DSS 形式（SP・LP モード）と WMA 形式（SHQ・HQ モード）のファイル名には、自動的にユーザ ID がつけられます。

1 [ユーザIDの転送] 画面で、新たなIDを入力する

（Windows）[転送] メニュー内にあります。
（Macintosh）[ダウンロード] メニュー内にあります。

2 [転送] をクリックする

変更したユーザID名が本機に転送されます。

ご注意

録音／再生表示ランプが点滅中は、絶対にUSB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

フォルダ名を変更する

音声フォルダウィンドウのフォルダ名を変更する

［ファイル］メニューの［フォルダ名の変更］コマンドを使用することで、フォルダ名を変更できます。フォルダ名は 20 文字まで入力可能ですが、半角の **¥/:*?"<>|** は入力できません。

デバイスウィンドウのフォルダ名を変更する

（Windows）変更するフォルダ名を右クリックし［フォルダ名の変更］を選択、フォルダ名を入力します。変更したフォルダ名は本機のフォルダ名に反映されます。
（Macintosh）［ファイル］ メニューから ［フォルダ名の変更］を選択、フォルダ名を入力します。

デバイスウィンドウのフォルダ名として使用できる文字は、半角記号を除いた大小半角英数字、半角カタカナ、ひらがな、漢字、全角記号で全角 6 文字（半角 12 文字）以内です。

ご注意

録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

コメントを編集する

DSS Player 上のコメントは「コメントの編集」画面で編集し、本機へ転送することができます。本機から読み込んだコメントの編集も可能です。

「コメントの編集」画面は、[ツール] メニューから [コメントの編集] を選択してください。

入力できる文字数は全角50文字（半角100文字）以内です。

ご注意

録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

テンプレートを編集する

DSS Player 上のフォルダ名・コメントのテンプレートは「テンプレートの編集と登録」画面で編集し、本機へ転送することができます。本機から読み込んだテンプレートの編集も可能です。

(Windows)[転送]メニューから[テンプレートの編集と登録]を選択してください。

(Macintosh)[ダウンロード]メニューから[テンプレートの編集と登録]を選択してください。

使用できる文字は、半角記号を除いた大小半角英数字、半角カタカナ、ひらがな、漢字、全角記号で、入力できる最大文字数はフォルダ名が全角4文字(半角8文字)、コメントが全角10文字(半角20文字)です。

ご注意

録音/再生表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

音楽プレーヤーとして楽しむ

音楽ＣＤやインターネットからパソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して再生することができます。本機はMP3形式、WＭＡ形式の音楽ファイルに対応しています。音楽プレーヤーで再生するためには対応する音楽ファイルを本機の音楽用フォルダにパソコンから転送(コピー)する必要があります。

Windows Media Playerを使う

Windows

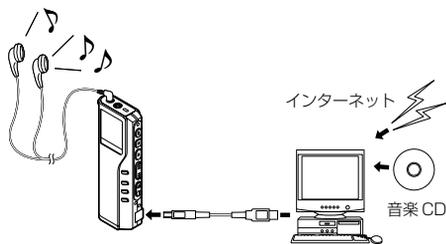
Windows Media Playerを用いると、音楽ＣＤから音楽ファイルを変換（リッピング）したり（☞ P68）、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを簡単に本機に転送することができます（☞ P69）。

Macintosh

本機に付属の Windows Media Player は Windows 専用です。お客様の用途に合わせてお好きなアプリケーションソフトをご使用ください。

著作権と著作権保護機能(DRM)について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽CDなどの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的としたMP3 やWMＡファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。

WMA ファイルには著作権の保護を目的としたDRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。DRM の施された WMA ファイルを本機に転送するには Windows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

Microsoft エンドユーザー・ライセンス契約

お買いあげになった製品には、Microsoft Licensing Inc. またはその系列会社（以下「Microsoft」）からオリンパス株式会社(以下オリンパス)によってライセンスされたソフトウェアが含まれています。インストールされている Microsoft のソフトウェア製品、関連メディア、印刷物、オンラインやソフトウェアは、著作権法と国際著作権条約さらに知的所有物法と条約によって保護されています。このソフトウェアの使用する権利を受けるだけで、販売できる権利をあたえるられるものではありません。このエンド・ユーザー・ライセンス契約（以下「EULA」）に同意しない場合は、製品を使用したりソフトウェアをコピーすることはできません。オリンパスに連絡して、未使用の製品を返品し返金を受けるための指示をうけてください。製品の使用を含めるが、それに限定されないいかなる方法でソフトウェアを使用した場合も、お客様がこの EULA に同意（または以前の同意を承認）したこととみなされます。

ライセンスの許諾

このソフトウェアは使用する権利を受けるだけで、販売できる権利を与えられるものではありません。この EULA は、このソフトウェアに関する次の権利を許諾します。
このソフトウェアはこの製品でのみ使用することは許可されます。

非障害許容

このソフトウェアは障害許容ではありません。オリンパスはこの製品でこのソフトウェアを独自の方法で使用しており、Microsoft はこのソフトウェアがそのような使用に適していることを確認するために十分なテストを実施することをオリンパスに一任しています。

ソフトウェアに対する保証なし

このソフトウェアは、誤りを含めて「そのまま」提供されるものです。満足できる品質、性能、正確さ、取り扱い（過失のないこと）はすべてお客様の責任です。また、ソフトウェアの享受の妨害および違反に対する保証も一切いたしません。お客様がこの製品またはソフトウェアに対する保証を受け取った場合は、その保証は Microsoft から発行されたものではなく、Microsoft は拘束されません。

Java のサポートについて

このソフトウェアには Java で書かれたプログラムのサポートが含まれています。Java テクノロジは障害許容ではなく、核設備、航空機操縦、通信システム、航空トラフィック・コントロール、直接生命維持装置、兵器システムなど、Java テクノロジの障害が直接死亡、人身障害、重大な人体または環境上の損害につながる可能性のあるような、フェイルセーフ性能が要求される危険な環境でのオンライン制御装置として、設計、製造、あるいは使用または小売りを意図されたものではありません。Sun Microsystems, Inc. は Microsoft との契約上この責任の否認を行う義務があります。

特定の損害に対する責任の否認

法律で禁止されている場合を除き、Microsoft はこのソフトウェアの使用または性能に関連した間接、特別、必然的、あるいは偶発的な損害に対し、一切責任を負いません。この制限は、法的救済がその主目的を達成できなかった場合にも適用されます。

リバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブルの制限

お客様は、この制限にかかわらず適合する法律によって明示的に許可されている場合にその範囲内で許可されることを除き、このソフトウェアをリバースエンジニア、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

ソフトウェアの譲渡の制限付き許可

お客様は、この製品の永久的な売り渡しまたは譲渡の一部としてのみこの EULA に規定されている権利を永久的に譲渡することができます。なお、これは受領者がこの EULA に同意する場合に限ります。ソフトウェアがアップグレードの場合は、そのソフトウェアの譲渡には旧バージョンをすべて含む必要があります。

輸出制限

お客様は、このソフトウェアまたはそのいかなる部分、あるいはこのソフトウェアから直接生じるプロセスまたはサービスが米国産であることに同意します。米国輸出管理規制、米国および各国政府のエンド・ユーザー、エンド使用、輸出先を含む、該当する国際および国内法すべてを尊守することに同意します。Microsoft 製品の輸出についての詳細は、www.Microsoft.com/exporting/ を参照してください。

ウィンドウのなまえ（Windows Media Player）

① 機能タスクバー
② クイックアクセスボックス
③ 再生ボタン
④ 停止ボタン
⑤ 前へボタン
⑥ 次へボタン
⑦ 位置スライダ
⑧ 巻き戻しボタン
⑨ 早送りボタン
⑩ 音量スライダ
⑪ ミュートボタン

CD から音楽をコピーする

Windows

1 CDをCD-ROMドライブに挿入しWindows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから 「CDから録音」メニューをクリックする

3 クィックアクセスボックスの[アルバム情報の表示]をクリックする

インターネットに接続できる場合はCDの情報検索します。

4 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

5 クィックアクセスボックスの[音楽の録音]をクリックする

パソコンにコピーされたファイルはWMA形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CDからパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は「CD から音楽をコピーする」をご覧ください（☞P68）。

Windows

1 **本機をパソコンに接続しWindows Media Player を起動する**

2 **機能タスクバーから[デバイスへ転送]メニューをクリックする**

3 **転送する項目から本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける**

表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

4 **デバイス上の項目から本機に対応するドライブを選択する**

通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 **転送先のフォルダを選択する**

音楽Aフォルダに転送する場合…デバイス上の項目の**空欄部分**（本機ドライブのルート）を選択。
音楽Bフォルダに転送する場合…DSS_FLDFを選択します。
音声フォルダに転送する場合…DSS_FLDA～Eのお好きなフォルダを選んでください。
（部分リピート、早聞き・遅聞き、ノイズキャンセルなどの機能がご利用いただけます。語学学習などに便利です。）

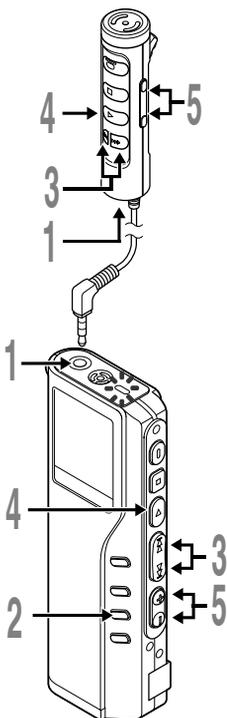
6 **クィックアクセスボックスの[転送]ボタンをクリックする**

ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはデバイス上の項目に表示されます。

ご注意

音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

音楽を再生する

本機には音楽A、音楽Bの２つの音楽用フォルダがあり、パソコンから転送した音楽ファイルを保存します。音楽ファイルのジャンルによって２つのフォルダを使い分けると便利です。

1 本機に接続したリモコンのEARジャックにステレオイヤホンを差し込む

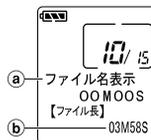
または直接本機のジャックに差し込んでください。

2 FOLDERボタンを押してフォルダを選ぶ

3 FFまたはREWボタンを押して再生したい音楽ファイルを選ぶ

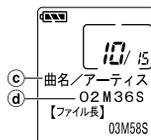
ファイル名とその曲の曲長が表示されます。FFまたはREWボタンを押し続けると連続してファイルの頭出しをします。

ⓐ—ファイル名表示
00M00S
【ファイル長】
ⓑ—03M58S

ⓐ 選択中のファイル
ⓑ 選択中のファイルの曲長

4 PLAYボタンを押して再生を開始する

録音／再生表示ランプが緑色に点灯し､曲名／アーティスト名が左にスクロールします。

（例）曲名を｢ＴＩＴＬＥ｣､アーティスト名を｢ＡＲＴＩＳＴ｣と入力した場合､｢ＴＩＴＬＥ/ARTIST｣表示がスクロールします。

ⓒ 再生中の曲名／アーティスト名
ⓓ 現在の再生時間

5 VOL(＋)またはVOL(－)ボタンを押して聞きやすい音量にする

ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0〜30)で表示されます。

1曲を再生し終わると次の曲が自動的に再生されます。
ディスプレイの表示パターンをかえることができます（☞ P77）。

ご注意

- 本機で再生可能なファイルのビットレートはMP3、WMA 形式ともに 32kbps ～ 160kbps です。
- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換させる）の MP3 ファイル再生も可能ですが、ディスプレイの時間表示が正常に働かない場合があります。
- イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- イヤホンを接続していない場合は本機スピーカから音が出ますがモノラル再生となります。
- タイトルとアーティスト名は各20文字（半角40文字）まで表示可能です。

再生に関する操作

再生中に曲の頭出しをする

再生中に **FF** ボタンを押します。
➡ 次の曲の頭出しをして再生を始めます。

再生中に **REW** ボタンを押します。
➡ 再生中の曲の頭出しをして再生を始めます。

再生中に **REW** ボタンを 2 回押します。
➡ 1つ前の曲の頭出しをして再生を始めます。

早送りをする

再生中に **FF** ボタンを押し続けます。
➡ 曲の終わりまで進んで次の曲の先頭で停止します。

早送りを解除する

聞きたいところで **FF** ボタンを離します。
➡ 再生を始めます。

早戻しをする

再生中に **REW** ボタンを押し続けます。
➡ 曲の先頭まで戻って再生を始めます。

早戻しを解除する

聞きたいところで **REW** ボタンを離します。
➡ 再生を始めます。

再生を中止する

PLAY または **STOP** ボタンを押します。
➡ 現在再生している曲の途中で停止します。

いろいろな再生のしかた

イコライザー（音質）を選ぶ

停止中または再生中に EQ ボタンを押すたびに、次の順で切り替わります*。

→ FLAT → ROCK → POP → JAZZ → USER ─┐（FLAT に戻る）

ユーザーイコライザー（USER EQ）では、お好みのイコライザー特性を登録できます（☞ P75）。

＊ EQ ボタンを押してから 2 秒間操作しないと通常表示に戻ります。

リピート再生・ランダム再生をする

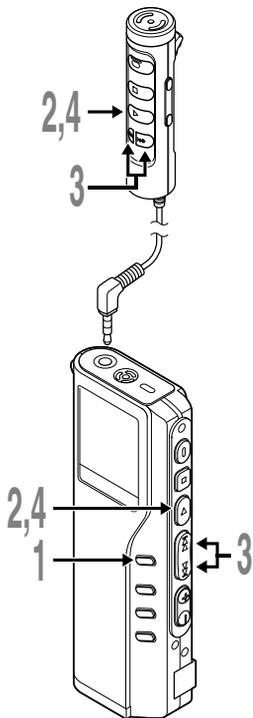
停止中は REPEAT ボタンを 1 秒以上、再生中は REPEAT ボタンを押すたびに、次の順で切り替わります。

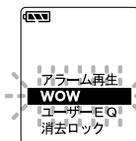
→ 通常再生 → 1 曲リピート再生 → 全曲リピート再生 → ランダムリピート再生 → ランダム再生 ─┐（通常再生に戻る）

機能	説明	ディスプレイ表示
通常再生	すべての曲を再生後に停止	表示無し
1 曲リピート再生	1 曲を繰り返し再生	↻1
全曲リピート再生	すべての曲を繰り返し再生	↻
ランダムリピート再生	すべての曲をランダムに繰り返し再生	↻ RANDOM
ランダム再生	すべての曲をランダム再生後に停止	RANDOM

臨場感（WOW）を高める

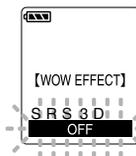
本機は音楽の臨場感を高めるための音響技術であるWOWを搭載しています。音楽のジャンルやお好みに合わせ、サラウンド効果（SRS 3D）とバス効果（TruBass）をそれぞれ４段階にレベル調整できます。

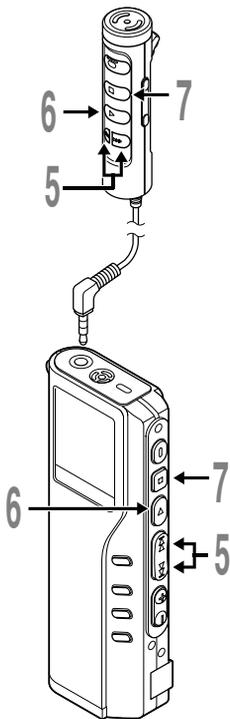
サラウンド効果（SRS 3D）......... 音のひろがり感やクリア感を高めることができます。
バス効果（TruBass）.................... 低音域をより豊かにできます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

ディスプレイに「WOW」が表示されます（☞ P80）。

2 PLAYボタンを押す

サラウンド効果「SRS 3D」の設定を始めます。

3 FFまたはREWボタンを押してサラウンド効果のレベルを選ぶ

「OFF」「LOW」「MIDDLE」「HIGH」の順で切り替わります。

4 PLAYボタンを押してお好みのサラウンド効果を確定する

バス効果「TruBass」の設定を始めます。

5 **FFまたはREWボタンを押してバス効果のレベルを選ぶ**

「OFF」「LOW」「MIDDLE」「HIGH」の順で切り替わります。

6 **PLAYボタンを押してお好みのバス効果を確定する**

7 **STOPボタンを押してメニュー画面を終了する**

他のメニューを設定したい場合はSTOPボタンを押さずにPLAYボタンを1秒以上押し続けます。

音を聞きながらWOWのレベルをかえたいときは、再生中にMENUボタンを1秒以上押して、手順3から設定を始めます。

ご注意

- WOWの初期設定はサラウンド効果、バス効果ともにOFFとなっています。
- 再生中のWOW設定は8秒間ボタン操作がされないと通常再生に戻ります。
- サラウンド効果、バス効果のどちらかでも設定されていると、ディスプレイに「**WOW**」が表示されます。
- ビットレートが32kbps以下の音楽ファイルではWOWの効果は弱くなります。
- 曲により、WOWの効果が強調され、ノイズのように聞こえる場合があります。そのときはWOWの効果を調整してください。

ユーザーイコライザー(USER EQ)を登録する

ユーザーイコライザーの設定をかえると、お好みのイコライザー特性を登録できます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P80)。

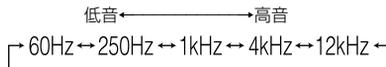
2 FFまたはREWボタンを押してユーザーイコライザーの設定画面を表示する

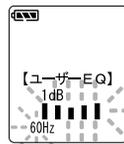
3 PLAYボタンを押す

周波数帯域(Hz)選択を始めます。

4 FFまたはREWボタンを押して周波数帯域を選ぶ

低音←→高音

→60Hz↔250Hz↔1kHz↔4kHz↔12kHz←

の順で切り替わります。

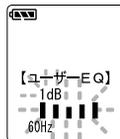
5 PLAYボタンを押して変更したい周波数帯域を確定する

6 FFまたはREWボタンを押してレベルを選ぶ

レベルの設定を始めます。
−15dBから15dBまで、1dBごとに切り替わり、数字が大きいほど強調されます。初期設定は0dBになっています。

7 PLAYボタンを押してお好みのレベルを確定する

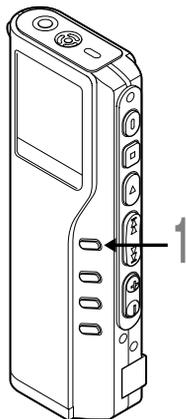
他の周波数帯域を変更する場合は、引き続きFFまたはREWボタンを押し、手順 4 から設定を始めます。

8 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

他のメニューを設定したい場合は、STOPボタンを押さずにPLAYボタンを1秒以上押し続けます。

ご注意

- ユーザーイコライザーの初期設定は FLAT になっています。
- 登録したユーザーイコライザーの設定は、電池交換を行なっても保存されています。

ディスプレイ表示をかえる(音楽プレーヤー編)

本機はディスプレイ表示の切り替えが可能です。停止・再生中にDISPLAYボタンを押すとディスプレイ表示が切り替わり、ファイルに関する情報や本機の状態が確認できます。

1 DISPLAYボタンを押す

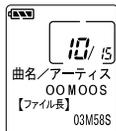
DISPLAYボタンを押すたびにディスプレイの表示パターンがかわります。

停止中の表示パターン

①から④を繰り返し表示します。曲名／アーティスト名などの文字数が多いときはすべて表示されません。

10/ 15
ファイル名表示
OOMOOS
【ファイル長】
03M58S

① ファイル名

選択中のファイル名と曲長を表示します。

② 曲名／アーティスト名

選択中のファイルの曲名／アーティスト名と曲長を表示します。

③ ファイル名(4行表示)

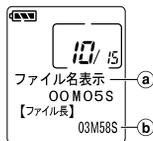
フォルダ内のファイル名を4タイトルずつ表示します。FFまたはREWボタンを押して表示するタイトルを選べます。

10/ 15
♪曲名／アーティ
♪曲名／アーティ
♪曲名／アーティ
♪曲名／アーティ

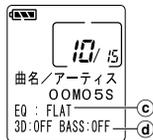
④ 曲名／アーティスト名(4行表示)

フォルダ内の曲名／アーティスト名を4タイトルずつ表示します。FFまたはREWボタンを押して表示するタイトルを選べます。

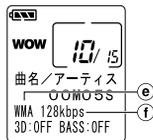
再生中の表示パターン

①から③を繰り返し表示します。曲名／アーティスト名などの文字数が多くて1行で表示できないときは、左にスクロールします（1週ごとに2秒間停止、再スクロールを繰り返します）。

① 曲名／アーティスト名

ファイルの曲名／アーティスト名や、曲長を表示します。

ⓐ **再生中の曲名／アーティスト名**
ⓑ **再生中のファイルの曲長**

② USER EQ／WOW

ファイルのタイトル／アーティスト名や、ユーザーイコライザー（USER EQ）／WOWの設定情報を表示します。

ⓒ **現在の USER EQ 設定**
ⓓ **現在の WOW の設定**

③ ファイル形式／ビットレート

ファイルのタイトル／アーティスト名やファイル形式／ビットレート／WOWの設定情報を表示します。

ⓔ **再生中のファイル形式**
ⓕ **再生中のファイルのビットレート**

音楽ファイルの再生曲順を変更する

DSS Player を使って、本機の音楽 A、B フォルダ内にある音楽ファイルの再生順を変更することができます。

1 DSS Playerを起動し、本機を接続する

2 デバイスウィンドウから本機の音楽AまたはBフォルダを選択する

3 ファイル一覧に表示される音楽ファイルをマウスでドラッグし、変更させたい曲順の位置にドロップする

✻ 移動させたい曲をマウスで選択し、ツールバーに表示される曲順変更ボタンで変更することもできます（Windows 版のみ）。

ご注意

本機の録音 / 再生表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続ケーブルを外さないでください。また、USB 接続ケーブルを外す場合は、必ず ☞ P51 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

メニューの一覧（音楽プレーヤー編）

MENUボタンを1秒以上押す

上段：日本語表示 / 下段：ENGLISH表示	設定画面・選択肢	内容
WOW / WOW EFFECT (☞P73)	〈SRS WOWの設定画面〉	サラウンド効果の設定
	〈Tru Bassの設定画面〉	バス効果の設定
ユーザーEQ / USER EQ (☞P75)	〈周波数の設定画面〉	周波数の設定
	〈レベルの設定画面〉	レベルの設定
消去ロック / LOCK (☞P84)	OFF	設定の解除
	ON	消去ロックの実行
時計設定 / TIME&DATE (☞P19)	＜時刻日付設定画面＞ 12時間表示／年·月·日	年·月·日·時·分の設定
初期化 / FORMAT (☞P97)	キャンセル	初期化のキャンセル
	開始	本機の初期化
言語選択 / LANGUAGE (☞P91)	日本語	日本語表示
	ENGLISH	英語表示
コントラスト / CONTRAST (☞P88)	＜コントラスト設定画面＞ 6	コントラストの設定
ビープ音 / BEEP (☞P90)	ON	ビープ音の設定
	OFF	設定の解除
バックライト / BACKLIGHT (☞P89)	ON	バックライトの点灯
	OFF	設定の解除
フォルダ名 / FOLDER NAME (☞P92)	＜フォルダ選択画面＞	フォルダ名の入力
アラーム再生 / ALARM (☞P85)	OFF	設定の解除
	ON	アラームの実行

上段：日本語表示
下段：ENGLISH表示

➡ MENU ボタンを押す

⬌ FF または REW ボタン（選択ボタン）を押す

➡ PLAYボタン（決定ボタン）を押す

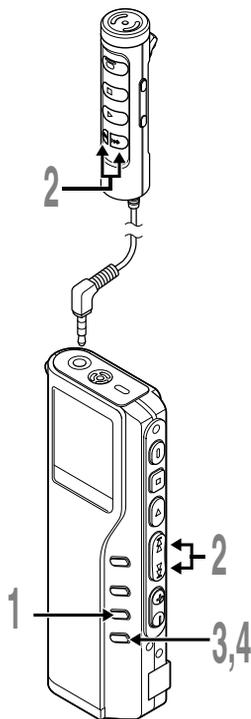
▭ 初期設定

ご注意

- 一部のメニューは音声モードと共通です。
- メニューの設定中にSTOPボタン、RECボタンを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- メニューの設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

消去する

ファイルを 1 件ずつ消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。

1 FOLDERボタンを押してフォルダを選ぶ

2 FFまたはREWボタンを押して消去したいファイルを選ぶ

ⓐ 消去したいファイル

3 ERASEボタンを押す

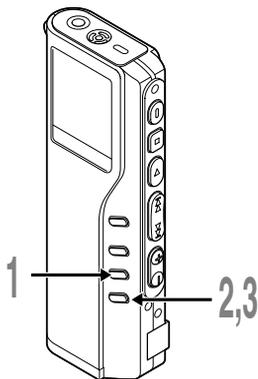
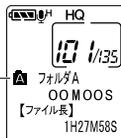
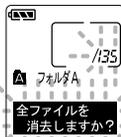
「このファイルを消去しますか?」が約8秒間点滅します。

4 「このファイルを消去しますか?」が点滅中にもう一度ERASEボタンを押す

ディスプレイが「ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

フォルダ内のファイルをすべて消去する

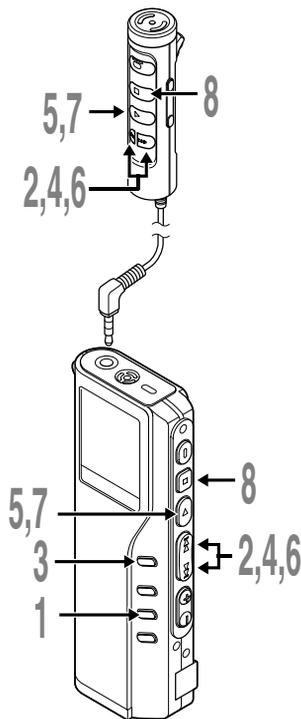
選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。
ただし消去ロック設定のあるファイルは消去されません（☞ P84）。

1 FOLDERボタンを押して全ファイルを消去したいフォルダを選ぶ
ⓐ 消去したいフォルダ

2 ERASEボタンを3秒以上押す
「全ファイルを消去しますか?」が約8秒間点滅します。

3 「全ファイルを消去しますか?」が点滅中にもう一度ERASEボタンを押す
ディスプレイが「全ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去ロックの設定されているファイルは、ファイル番号の小さい順にあらためて「1」からファイル番号がつきます。

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルは消去されません（☞ P84）。
- 「このファイルを消去しますか?」または「全ファイルを消去しますか?」が点滅してから8秒以内にERASEボタンが押されないと停止状態に戻ります。
- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に次のことをしないでください。データが破損する恐れがあります。電池を取り外す／ACアダプタの抜き差しをする（本機に電池が入っているいないにかかわらず絶対にしないでください）。

誤消去を防止（LOCK）する

ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。
また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P82）。

1 **FOLDERボタンを押してフォルダを選ぶ**

2 **FFまたはREWボタンを押して消去ロックをかけたいファイルを選ぶ**

3 **MENUボタンを1秒以上押す**

メニュー画面に入ります（☞ P47、80）。

4 **FFまたはREWボタンを押して消去ロックの設定画面を表示する**

5 **PLAYボタンを押す**

消去ロックの設定を始めます。

6 **FFまたはREWボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ**

ON…消去ロックがかかります。
OFF…消去ロックが解除されます。

7 **PLAYボタンを押して設定を完了する**

8 **STOPボタンを押してメニュー画面を終了する**

アラーム再生（ALARM）を使う

アラーム再生とは設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。

1 FOLDERボタンを押してフォルダを選ぶ

2 FFまたはREWボタンを押してアラーム再生したいファイルを選ぶ

3 MENUボタンを1秒以上押す

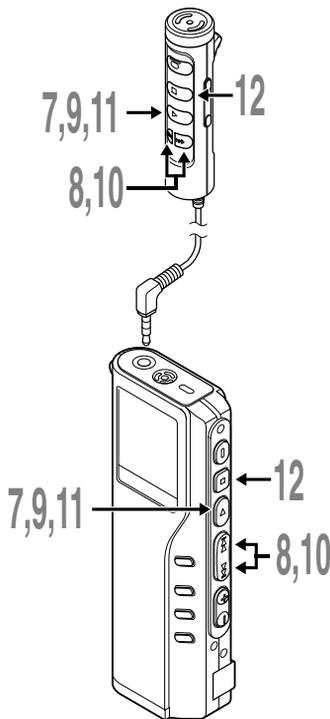
メニュー画面に入ります(☞ P47、80)。

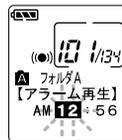
4 FFまたはREWボタンを押してアラーム再生の設定画面を表示する

5 PLAYボタンを押す

アラーム再生の設定を始めます。

6 FFまたはREWボタンを押して「ON」を選ぶ

ON…アラーム再生をします。
OFF…アラーム再生を解除します。

7 **PLAYボタンを押して確定する**

「時」が点滅します。
「OFF」を選択するとアラーム再生の設定を中止し、アラーム表示は消えます。
☞ 手順12へ

8 **FFまたはREWボタンを押して「時」を設定する**

9 **PLAYボタンを押して確定する**

「分」が点滅します。

10 **FFまたはREWボタンを押して「分」を設定する**

11 **PLAYボタンを押して設定を完了する**

12 **STOPボタンを押してメニュー画面を終了する**

アラーム再生時刻になると「ピーピー・・・」とアラーム音が鳴り出します。アラーム音が鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、設定したファイルが再生されます。

アラーム音のみ鳴らしたいとき

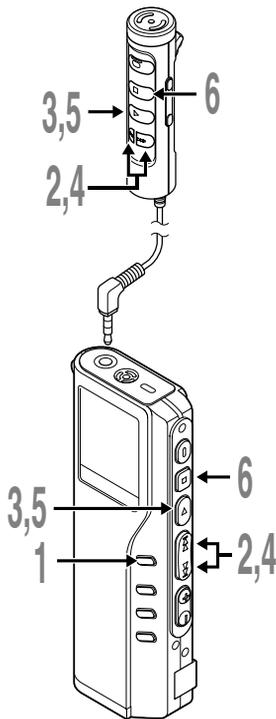
設定した時刻にアラーム音のみ鳴らしたいときは、選択したフォルダのファイル数が0件の状態で設定します。

- 「アラーム再生を使う」の手順3（☞ P85）から設定を始めます。
- 設定時刻になってアラーム音が鳴ったとき、いずれかのボタンを押すと止まります。

ご注意

- アラーム再生は1つのファイルのみ設定できます。
- アラーム再生の設定を解除しないと、毎日設定された時刻にアラーム音が鳴り始めます。
- アラーム再生するファイルをかえる場合は、一度アラームの設定を「OFF」にしてから、再度設定を行なってください。
- アラームは鳴り始めて５分たつと止まります。
- アラームを設定した時刻に本機を操作していたり、本機が動作中の場合は、終了後アラームが鳴り出します。
- ホールドになっていても、アラーム再生の設定時刻になると、アラームが鳴り出します。この場合はホールド中でもいずれかのボタンを押すと設定したファイルの再生を始めます。
- 設定したファイルを消去すると、アラーム再生の設定は解除されます。
- アラーム再生されるファイルは音声 / 音楽（VOICE/MUSIC)モードに関係なく、設定されたファイルが再生されます。

ディスプレイのコントラスト（CONTRAST）を調整する

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47、80)。

2 FFまたはREWボタンを押してコントラストの設定画面を表示する

3 PLAYボタンを押す

コントラストの設定を始めます。

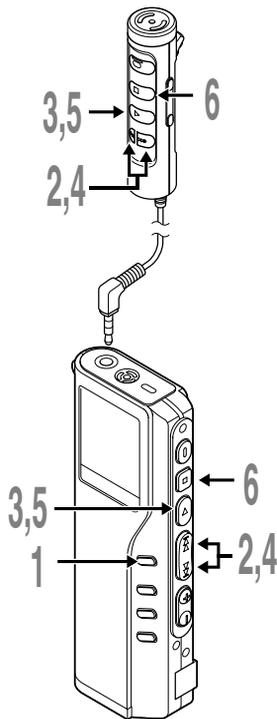
4 FFまたはREWボタンを押してレベルの調整をする

「1」から「12」の間で調整を行います。

5 PLAYボタンを押して設定を完了する

6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

バックライト(BACKLIGHT)について

ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約10秒間点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47、80)。

2 FFまたはREWボタンを押してバックライトの設定画面を表示する

3 PLAYボタンを押す

バックライトの設定を始めます。

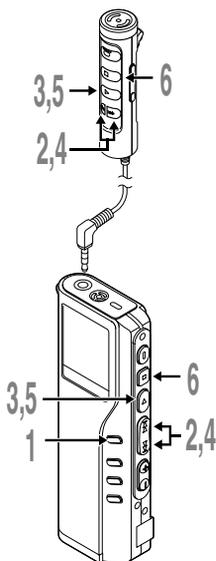
4 FFまたはREWボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…バックライトを設定します。
OFF…バックライトを解除します。

5 PLAYボタンを押して設定を完了する

6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音（BEEP）について

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。
ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47、80)。

2 FFまたはREWボタンを押してビープ音の設定画面を表示する

コントラスト
ビープ音
バックライト
外部入力

3 PLAYボタンを押す

ビープ音の設定を始めます。

4 FFまたはREWボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

5 PLAYボタンを押して設定を完了する

6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

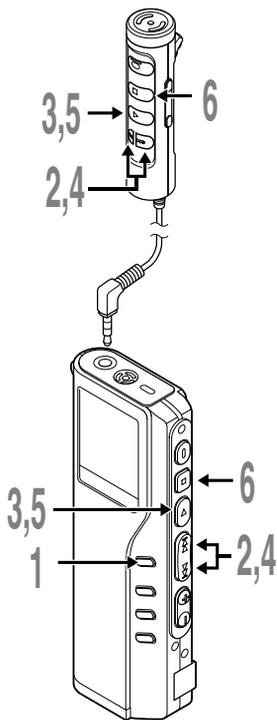
アラーム再生が設定されている場合はビープ音の設定がOFFでも、設定時刻にアラーム音が鳴ります。

ビープ音の種類

音	内容
ピッ	再生や録音の開始、表示の切り替え
ピピッ	各種の設定、USB コネクタの挿入
プップッ	録音の一時停止
ププッ	再生や録音の停止、頭出しの停止、連続頭出しの停止
プッ	頭出し

音	内容
ポッ	前のファイルへの頭出し
ピピピピッ	誤操作の警告
ププーププー	操作の終わり
ピーピーピー…	アラーム再生
プー	録音可能な残り時間がわずかなときの警告（☞ P28）

言語選択（LANGUAGE）のしかた

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選ぶことができます。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P47、80）。

2 FFまたはREWボタンを押して言語選択の設定画面を表示する

3 PLAYボタンを押す

言語選択の設定を始めます。

4 FFまたはREWボタンを押して「日本語」か「ENGLISH」を選ぶ

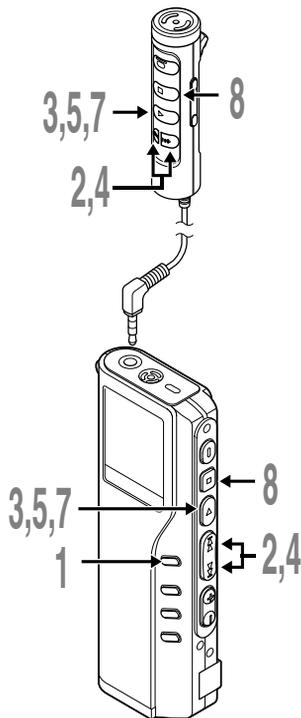
5 PLAYボタンを押して設定を完了する

6 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイルにつけたコメントの言語がかわることはありません。

フォルダ名（FOLDER NAME）をつける

すべてのフォルダに全角６文字（半角 12 文字）以内の名前をつけることができます。また「会議」や「スケジュール」「プライベート」といったよく使われる単語は、あらかじめテンプレート（☞ P94）に登録されているので入力する手間がいりません。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47、80)。

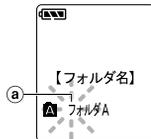
2 FFまたはREWボタンを押してフォルダ名の設定画面を表示する

3 PLAYボタンを押す

フォルダ名の設定を始めます。

4 FFまたはREWボタンを押して名前をつけるフォルダを選ぶ

5 PLAYボタンを押して名前をつけるフォルダを確定する

現在のフォルダ名の先頭の文字が点滅します。

ⓐ **入力中の文字**（スペースは黒の点滅）

6 文字を入力する

文字は挿入入力されます。文字の選びかた（①②③）や入力できる文字は次の通りです。

文字入力時のボタンの割り当て

ボタン	押しかた	本機の動作
PLAY ボタン	短く押す	文字決定し、次文字へ進む
	長く押す	フォルダ名・コメントを決定 *
FF(+)ボタン	短く押す	入力文字の選択　次へ進む
	長く押す	入力文字の早送り
REW(−)ボタン	短く押す	入力文字の選択　前に戻す
	長く押す	入力文字の早戻し
FOLDER ボタン	—	点滅を前に戻す
ERASE ボタン	—	点滅中の文字を消す
INDEX ボタン	短く押す	文字グループを選択　「入力できる文字」にあるグループ単位順に、先頭の文字を表示
	長く押す	入力グループの早送り
MENU ボタン	短く押す	入力文字の選択　５文字飛ばし
	長く押す	入力文字の選択　５文字飛ばしの早送り

＊ 音楽ファイルにコメントは入力できません。

① **FF**ボタンまたは**REW**ボタンを押すと文字が前後します。

② **INDEX**ボタンを押すと次の文字グループの先頭文字が表示されます。最初に文字グループを決定すれば、入力したい文字にすばやくたどり着けます。

（スペース）
テンプレート .... 会議
半角英大文字 .... A
半角英小文字 .... a
半角数字 1
半角カタカナ .... ｱ
全角ひらがな .... あ
全角記号 .... ，

③ **MENU**ボタンを押すと以下の順に5文字ごとにスキップして表示を行います。

「　」(スペース)→「会議」→「スケジュール」→「A」→「F」→「K」→「P」→「U」→「Z」→「a」→「f」→「k」→「p」→「u」→「z」→「1」→「6」→「ｱ」→「ｶ」→「ｻ」→・・・→「ﾗ」→「ﾜ」→「ﾝ」→「ｧ」→「ｬ」→「ｯ」→「ﾞ」→「あ」→「か」→「さ」→・・・→「ら」→「わ」→「ん」→「ぁ」→「ゃ」→「っ」→「が」→「ざ」→「だ」→「ば」→「ぱ」→「ー」→「，」→「？」→「～」→「￥」→「＊」→「　」(スペース) →・・・

上記以外の文字を選択中にDISPLAYボタンを押すと、その直後の文字にスキップします。(「出張」表示中にDISPLAYボタンを押すと「スケジュール」に、「い」表示中にDISPLAYボタンを押すと「か」になります)

入力できる文字＊

文字グループ		表示する順番
テンプレート	フォルダ名入力	会議→商談→出張→講義→重要→スケジュール→メモ→TO DO→語学学習→ベスト
	コメント入力	優先→重要→メモ→アイデア→会議／講演→語学学習→インタビュー→スケジュール→備忘録→TO DO
半角英大文字		A→B→C→・・・・・→X→Y→Z
半角英小文字		a→b→c→・・・・・→x→y→z
半角数字		1→2→3→・・・・・→8→9→0
半角カタカナ		ｱ→ｲ→ｳ→・・・・・→ﾜ→ｦ→ﾝ→ｧ→ｨ→ｩ→ｪ→ｫ→ｬ→ｭ→ｮ→ｯ→ﾞ→ﾟ→ｰ
全角ひらがな		あ→い→う→・・・・・→わ→を→ん→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→ゃ→ゅ→ょ→っ→が→・・・→ご→ざ→・・・→ぞ→だ→・・・→ど→ば→・・・→ぼ→ぱ→・・・→ぽ→ー
全角記号		，→．→・→：→；→？→！→＿→―→／→～→（→）→【→】→￥→＄→％→＃→＆→＊→＠→★→※→〒

＊ DSS Playerを使用すればテンプレートを自由に変更できます。またパソコンのキーボードから直接フォルダ名やコメントの入力が行えます。

＊音楽ファイルにコメントは入力できません。

7 フォルダ名を入力し終わったらPLAYボタンを1秒以上押し続ける

新しいフォルダ名の入力を完了します。

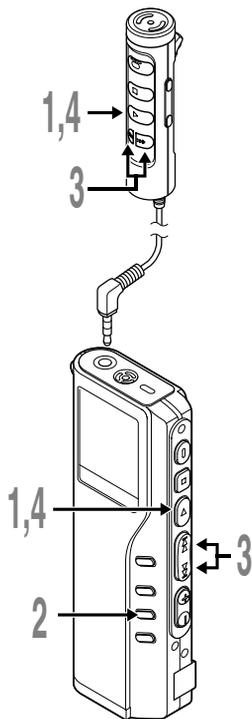
（他のフォルダの名前を続けて入力したいときはPLAYボタンを押して、手順4から設定を始めます。）

8 STOPボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 入力した単語を決定することで制限文字数を超えた場合、はみ出した文字、あるいは制限文字数以内であるにも関わらず表示されない文字は自動的に消去されます。
- 入力中「文字数オーバーです」と表示されたら、もう一度入力し直してください。

ファイルを移動する

録音したファイルを別のフォルダに移動することができます。移動したファイルは移動先のフォルダの一番最後に加えられます。

1 移動させたいファイルを選びPLAYボタンを押して再生する

2 再生中にFOLDERボタンを1秒以上押す

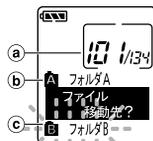
再生が停止してディスプレイに移動先のフォルダが点滅します。

ⓐ 移動したいファイル
ⓑ 現在のフォルダ
ⓒ 移動先のフォルダ

101/134
フォルダA
ファイル
移動先？
フォルダB

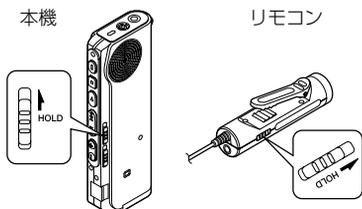
3 FFまたはREWボタンを押して移動先のフォルダを選ぶ

移動先に元のフォルダを選ぶと、そのフォルダ内の一番最後にファイルが移動します。

4 PLAYボタンを押して移動先のフォルダを確定する

「ファイル移動完了」と表示されたら終了です。

ご注意

- 移動先のフォルダの録音件数が最大（199）のときは、「件数オーバーで移動できません」と警告表示され、移動できません。
- 移動先のフォルダを選ぶとき、停止ボタンを押すか、8秒間操作をしないとファイル移動を中止します。
- 音声フォルダと音楽フォルダ間のファイル移動はできません。

誤操作を防止する－ホールド（HOLD）機能

ホールドにすると現在の状態を保ち、ボタンやスイッチ操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。

使用するときは必ず HOLD スイッチを解除してください。

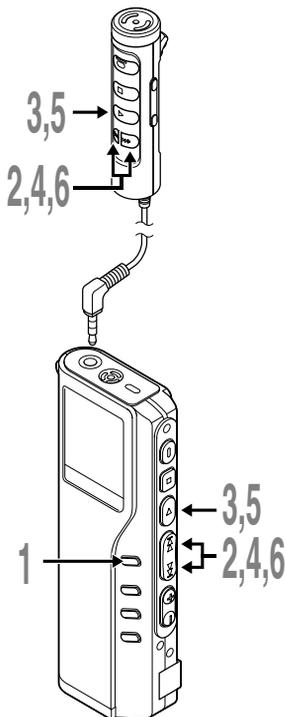
ホールド設定時の動作状態

本機の状態	本機の HOLD	リモコンの HOLD	本機のボタン操作	リモコンのボタン操作
停止中	ON	リモコン未接続	「ホールド」を 2 秒間点滅表示後、ディスプレイが消灯します。このときいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点滅しますが、動作しません。	――
	ON	OFF	「ホールド」を 2 秒間点滅表示後、ディスプレイが消灯します。このときいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点滅しますが、動作しません。	通常動作。ボタン操作後に本機が停止状態の場合は 20 秒後にディスプレイが消灯します。
	OFF	ON	通常動作	リモコンでのボタン操作は無効です。
動作中	ON	リモコン未接続	再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生(録音）状態のまま操作ができなくなります。（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります。）	――
	ON	OFF	再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生(録音）状態のまま操作ができなくなります。（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります。）	通常動作。ボタン操作後に本機が停止状態の場合は 20 秒後にディスプレイが消灯します。
	OFF	ON	通常動作	リモコンでのボタン操作は無効です。ただし本機が録音時は REC ランプが点灯します。

ご注意

ホールド中でもアラーム再生（☞ P85）の設定時刻になるとアラームが鳴り出します。このときはホールド中でもボタンの操作ができます。

初期化(FORMAT)する

初期化すると記録されているファイルはすべて消去され、年月日時分の設定を残し、各機能の設定が購入時の状態に戻ります。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P47、80)。

2 FFまたはREWボタンを押し初期化の設定画面を表示する

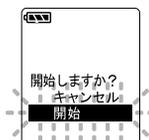
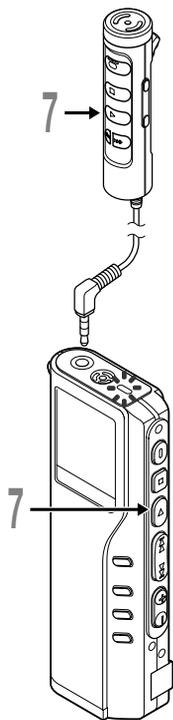
3 PLAYボタンを押す

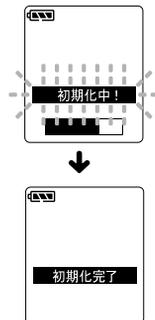
初期化を設定します。

4 FFまたはREWボタンを押して「開始」を選ぶ

5 PLAYボタンを押す

「データが完全に消去されます」が約2秒間点灯します。

6 FFまたはREWボタンを押して、もう一度「開始」を選ぶ

7 PLAYボタンを押す

表示が点滅して初期化を開始します。

「初期化完了」が表示されたら初期化完了です。

ご注意

- 初期化中は絶対に次のことをしないでください。データが破損する恐れがあります。電池を取り外す／ACアダプタの抜き差しをする（本機に電池が入っている、いないにかかわらず絶対にしないでください）。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が0001からとなる場合があります。
- 一度初期化をすると、DRM付き音楽ファイルを再び本機へ転送することができなくなる場合があります。
- 初期化をすると消去ロックをかけたファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。

リーダ／ライタとして使う

音声レコーダーや音楽プレーヤーとしての使いかたの他に、本機は外付け型の外部メモリ・リーダ／ライタとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存することが可能です。

- Windows 98／98 SE をお使いの場合は、あらかじめ DSS Player をインストールする必要があります。

たとえば、エクスプローラやファインダでパソコンのデータをコピーする

1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する
接続方法は、「パソコンに接続する」をご覧ください(☞ P50)。

3 エクスプローラまたはファインダを起動する
本機がリムーバブルディスクとして表示されます。

4 データをコピーする
データの読み書きやコピーなど、アクセス中は本機の録音／再生表示ランプが点滅します。

本機をパソコンから外す場合は「パソコンから外す」をご覧ください（☞ P51）。

ご注意
録音／再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池を交換して下さい (BATTERY LOW)	電池残量がない	新しい電池に交換してください(☞ P16)
消去できません (LOCK ON)	消去ロックがかかっているファイルを消去しようとした	消去ロックを解除してください(☞ P84)
これ以上記録できません (インデックスマークをつけるとき) (INDEX FULL)	ファイル内でインデックスマークを最大数(16)まで使っている	必要のないインデックスマークを消去してください(☞ P43)
インデックス未対応ファイルです (INDEX CAN'T BE ENTERED)	音楽ファイルや本機以外で録音したWMA ファイルにインデックスマークをつけようとした	本機またはオリンパス製ICレコーダーで録音した音声ファイルに限りインデックスマークがつけられます
これ以上記録できません (録音するとき) (FOLDER FULL)	フォルダ内のファイル件数が最大数(199)になっている	必要のないファイルを消去してください(☞ P81)
文字数オーバーです (OVER FLOW)	入力可能な文字数を超えている	制限文字数以内でもう一度入力し直してください
コメント未対応ファイルです (COMMENT CAN'T BE ENTERED)	WMA ファイルにコメントをつけようとした	本機またはオリンパス製 IC レコーダーで録音した音声ファイルに限りコメントがつけられます
件数オーバーで移動できません (FOLDER FULL)	移動先フォルダ内のファイル件数が最大数(199)になっている	必要のないファイルを消去してください(☞ P81)
メモリに異常があります (MEMORY ERROR)	内蔵フラッシュメモリに異常がある	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください(☞ P107)
不正コピーされたファイルです (LICENCE MISMATCH)	不正にコピーされた音楽ファイルです	ファイルを消去してください(☞ P81)
メモリがいっぱいです (MEMORY FULL)	フラッシュメモリ残量がない	必要のないファイルを消去してください(☞ P81)
ファイルがありません (NO FILE)	フォルダ内にファイルがない	フォルダを選び直してください

表示	詳細	解決方法
初期化に失敗しました（FORMAT ERROR）	初期化に問題があった	メモリを再フォーマットしてください（☞ P97）
同じ名前のファイルがあります（SAME FILE）	フォルダ内にあるファイルと同名のファイルを作成または保存しようとした	ファイル名を変更してください
SYSTEM ERROR	本機のシステムに異常がある	故障ですのでお買い上げの販売店または当社のサービスステーションに修理をご依頼ください（☞ P107）

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない	電池の⊕⊖を確かめてください
	電池が消耗している	新しい電池に交換してください（☞ P16）
	ホールドがかかっている	ホールドを解除してください（☞ P17,96）
操作できない	ホールドがかかっている	ホールドを解除してください（☞ P17,96）
	電池が消耗している	新しい電池に交換してください（☞ P16）
録音できない	メモリ残量がない	必要のないファイルを消去してください（☞ P81）
	ファイル番号が最大記録件数になっている	別のフォルダを確認してみてください
	音楽プレーヤーモードになっている	モードスイッチを「VOICE」に切り替えてください（☞ P18）
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている	内蔵スピーカでの再生時はイヤホンをはずしてください
	音量が０になっている	ボリュームを調節してください
消去できない	消去ロックがかかっている	消去ロックを解除してください（☞ P84）
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした	—
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯の近くに置いている	操作時に本機の位置を変えてみてください
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い	マイク感度を「会議」にしてもう一度録音してみてください（☞ P34）
インデックスマークがつけられない	インデックスマーク件数が最大（16件）になっている	必要のないインデックスマークは消去してください（☞ P43）
	消去ロックがかかっている	消去ロックを解除してください（☞ P84）

症状	考えられる原因	対処方法
AC アダプタで動作しない	専用でないアダプタで操作した	専用アダプタ（別売）をご利用ください
ダウンロードした音楽ファイルがない	ダウンロード先のフォルダが音楽用フォルダ以外である	音楽用フォルダに音楽ファイルをコピーしてください
	音声レコーダーモードになっている	モードスイッチを「MUSIC」に切り替えてください（☞ P18）
録音した音声ファイルがない	音楽プレーヤーモードになっている	モードスイッチを「VOICE」に切り替えてください（☞ P18）
	録音したフォルダではない	フォルダボタンでフォルダを切り替えてください

アクセサリー（別売）

ステレオマイクロホン：ME50S/ME51S

ステレオならではの臨場感のある録音ができます。しかもWMA形式でノイズの少ないクリアな音質が得られます。

単一指向性マイクロホン：ME12（口述録音用マイク）

周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。

AC アダプタ：A324

国内専用の AC アダプタです。

単 4 形ニッケル水素充電池／充電器セット：BC400

ニッケル水素充電器 BU-400 と単 4 形ニッケル水素充電池BR401 4本組セットです。オリンパス製の単 3 、単 4 形ニッケル水素充電池を急速充電できます。

単 4 形ニッケル水素充電池：BR401

持続性に優れた高性能充電池です。

コネクティングコード：KA232＊

ラジオなどのイヤホンジャック（モノラルタイプ）と本機のマイクロホンジャックを接続して、その音声を録音する場合に使用します。

プラグアダプタ：PA3

ミニミニプラグ（φ 2.5）をミニプラグ（φ 3.5）用のジャックに接続するためのプラグアダプタです。ミニミニプラグを備えたマイクロホンなどを、本機のマイクロホンジャックに接続する場合に必要です。

＊ このアクセサリーは、プラグアダプタ PA3 といっしょにご使用ください。

用語の説明

用語	意味
ボイストレック	オリンパス製 IC レコーダーの総称です。
メモリ	内蔵のフラッシュメモリのことを指します。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
音楽ファイル	WMA（Windows Media Audio）、MP3（MPEG1､2 Audio Layer 3）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態をさします。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための機能（入れ物）です。
キュー（CUE）	早送り再生のことです。
レビュー（REVIEW）	早戻し再生のことです。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
アラーム再生	指定した時刻にアラーム音が鳴り、アラーム音が鳴っている間にボタンを押すと設定したファイルを再生する機能です。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
フォーマット	初期化とも言います。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。 接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。
クレードル	本機とパソコンをつなぐ卓上ホルダーのことで、USB 接続ケーブルを使ってデータ転送を行えます。

主な仕様

デジタル音声レコーダー部

記録形式 DSS（Digital Speech Standard）形式
WMA（Windows Media Audio）形式

規定入力レベル − 70dBv

サンプリング周波数
SHQ モード : 44.1kHz
HQ モード : 44.1kHz
SP モード : 12kHz
LP モード : 8kHz

総合周波数特性 SHQ モード : 300 〜 8,000Hz
HQ モード : 300 〜 7,000Hz
SP モード : 300 〜 5,000Hz
LP モード : 300 〜 3,000Hz

記録時間 (DM-30)
SHQ モード：約 8 時間 50 分
HQ モード：約 17 時間 45 分
SP モード：約 42 時間 00 分
LP モード：約 89 時間 40 分
(DM-20)
SHQ モード：約 4 時間 20 分
HQ モード：約 8 時間 45 分
SP モード：約 20 時間 55 分
LP モード：約 44 時間 45 分
(DM-10)
SHQ モード：約 2 時間 10 分
HQ モード：約 4 時間 20 分
SP モード：約 10 時間 25 分
LP モード：約 22 時間 20 分

アルカリ電池持続時間
録音：約 16 時間
再生：約 9 時間

ニッケル水素充電池持続時間
録音：約 12 時間
再生：約 8 時間

デジタル音楽プレーヤー部

対応データ形式 WMA、MP3 形式

サンプリング周波数 44.1kHz

周波数特性 20 〜 20,000Hz

記録時間 (DM-30)
約 3 時間 20 分〜 11 時間 20 分
(DM-20)
約 1 時間 40 分〜 5 時間 40 分
(DM-10)
約 50 分〜 2 時間 50 分
（音楽データのビットレートにより異なります）

ヘッドホン最大出力
5mW ＋ 5mW（32Ω 負荷時）

アルカリ電池持続時間
約 10 時間

ニッケル水素充電池持続時間
約 8 時間

共通仕様部

記録媒体 内蔵型フラッシュメモリ
256MB（DM-30）
128MB（DM-20）
64MB（DM-10）

スピーカ φ 23mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

MIC/EAR/REMOTE ジャック
φ 3.5mm 小型ジャック、
インピーダンス MIC 2kΩ、
EAR 8Ω 以上

スピーカ実用最大出力（DC3V）
180mW 以上（スピーカ 8Ω)、

電源 定格電圧：3V
電池： 単４形電池２本（LR03
または R03）
ニッケル水素充電池２本
外部電源：AC アダプタ

外形寸法 109.5 × 39.5 × 15mm
（最大突起部含まず）

質量 85g（アルカリ電池含む）

同梱品 本体
ステレオマイク (ME51S)
(一部の機種のみ)
ステレオイヤホン (E31)
リモコンマイク(MR12)
アルカリ単４形電池 × 2
専用ケース
クレードル（CR2）
USB 接続ケーブル（KP10）
CD-ROM
専用ストラップ
取扱説明書（保証書付）
クイックマニュアル
お役立ち Q&A
愛用者カード
オリンパスサービスステーションリスト

＊ 本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。
＊ 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池・使用条件により大きく変ります。

アフターサービスについて

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。

● **製品に関するお問い合わせは**
オリンパスカスタマーサポートセンター
Tel ：フリーダイヤル 0120 − 084215
携帯電話・PHS：0426 − 42 − 7499
Fax：0426 − 42 − 7486
サポート時間：
平日／ AM 9:30 〜 PM 9:00
土・日・祝日／ AM 10:00 〜 PM 6:00
（年末年始、システムメンテナンス日を除きます）
〒 192-8507 東京都八王子市石川町 2951
オリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp で IC レコーダ（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

● 製品の修理に関してはお買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後６年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。

● なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、別紙の最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ．火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ．本書のご提示がない場合。
   ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアルナンバー、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   へ．電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス株式会社
〒 163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1 年	無料	
品名	ボイストレック	型名	DM-
ボディーNo.		お買い上げ日	年 月 日
お客様	住所 〒 TEL 氏名 様		
販売店名			

無効

D1-2941-04
AP0401